

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Masashi YAHARA

Serial No.: 09/615,243

Filed: July 13, 2000



Batch:

Group Art Unit: 2776

Examiner:

For: DOCUMENT MANAGEMENT METHOD, DOCUMENT MANAGEMENT
SYSTEM AND STORAGE MEDIUM

Certificate of Mailing

I hereby certify that this paper is being deposited with the
United States Postal Service as first class mail in an
envelope addressed to: Assistant Commissioner of Patents,
Washington, D.C. 20231 on:

Date: 10/20/00

By: Marc A. Rossi

Marc A. Rossi

CLAIM FOR PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the
following country is hereby requested for the above-identified application and the priority
provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed:

JAPAN 11-200332 July 14, 1999

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application is filed
herewith. It is requested that the file of this application be marked to indicate that the
requirements of 35 U.S.C. 119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office
kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

Date

Attorney Docket: CANO:009

Marc A. Rossi

Registration No. 31,923

GP 2776
2176
#3
RM

RECEIVED
OCT 25 2000
TC 2700 MAIL ROOM



C7W11
AP-1271

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1999年 7月14日

出 願 番 号

Application Number:

平成11年特許願第200332号

出 願 人

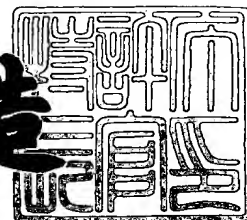
Applicant (s):

キヤノン株式会社

2000年 8月 4日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3061717

【書類名】 特許願

【整理番号】 3933056

【提出日】 平成11年 7月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/20
G11C 7/00

【発明の名称】 文書管理方法及びシステム並びに記憶媒体

【請求項の数】 45

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社
社内

【氏名】 矢原 雅史

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代表者】 御手洗 富士夫

【代理人】

【識別番号】 100081880

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡部 敏彦

【電話番号】 03(3580)8464

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 007065

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9703713

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 文書管理方法及びシステム並びに記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理方法において、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理工程と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加工程と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行工程とを有することを特徴とする文書管理方法。

【請求項 2】 前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする請求項 1 記載の文書管理方法。

【請求項 3】 前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする請求項 1 記載の文書管理方法。

【請求項 4】 前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする請求項 1 記載の文書管理方法。

【請求項 5】 前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする請求項 1 乃至 3 または 4 記載の文書管理方法。

【請求項 6】 前記識別子はマークであることを特徴とする請求項 1 または 5 記載の文書管理方法。

【請求項 7】 複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムにおいて、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文

書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理手段と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加手段と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行手段とを有することを特徴とする文書管理システム。

【請求項 8】 前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする請求項 7 記載の文書管理システム。

【請求項 9】 前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする請求項 7 記載の文書管理システム。

【請求項 10】 前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする請求項 7 記載の文書管理システム。

【請求項 11】 前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする請求項 7 乃至 9 または 10 記載の文書管理システム。

【請求項 12】 前記識別子はマークであることを特徴とする請求項 7 または 11 記載の文書管理システム。

【請求項 13】 複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理方法において、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理工程と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加工程と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行工程と、前記識別子に優先順位を表示させる表示工程とを有することを特徴とする文書管理方法。

【請求項 14】 前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする請求項 13 記載の文書管理方法。

【請求項 15】 前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする請求項 13 記載の文書管理方法。

【請求項 16】 前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする請求項 13 記載の文書管理方法。

【請求項 17】 前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする請求項 13 乃至 15 または 16 記載の文書管理方法。

【請求項 18】 前記識別子はマークであることを特徴とする請求項 13 または 17 記載の文書管理方法。

【請求項 19】 複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムにおいて、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理手段と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加手段と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行手段と、前記識別子に優先順位を表示させる表示手段とを有することを特徴とする文書管理システム。

【請求項 20】 前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする請求項 19 記載の文書管理システム。

【請求項 21】 前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする請求項 19 記載の文書管理システム。

【請求項 22】 前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする請求項 19 記載の文書管理システム。

【請求項 23】 前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする請求項 19 乃至 21 または 22 記載の文書管理システム。

【請求項 24】 前記識別子はマークであることを特徴とする請求項 19 または 23 記載の文書管理システム。

【請求項 25】 複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 26】 前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする請求項 25 記載の記憶媒体。

【請求項 27】 前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする請求項 25 記載の記憶媒体。

【請求項 28】 前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする請求項 25 記載の記憶媒体。

【請求項 29】 前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする請

求項 25 乃至 27 または 28 記載の記憶媒体。

【請求項 30】 前記識別子はマークであることを特徴とする請求項 25 または 29 記載の記憶媒体。

【請求項 31】 複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行モジュールと、前記識別子に優先順位を表示させる表示モジュールとを有することを特徴とする記憶媒体。

【請求項 32】 前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする請求項 31 記載の記憶媒体。

【請求項 33】 前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする請求項 31 記載の記憶媒体。

【請求項 34】 前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする請求項 31 記載の記憶媒体。

【請求項 35】 前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする請求項 31 乃至 33 または 34 記載の記憶媒体。

【請求項 36】 前記識別子はマークであることを特徴とする請求項 31 または 35 記載の記憶媒体。

【請求項 37】 前記記憶媒体は、フロッピーディスクであることを特徴と

する請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 38】 前記記憶媒体は、ハードディスクであることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 39】 前記記憶媒体は、光ディスクであることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 40】 前記記憶媒体は、光磁気ディスクであることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 41】 前記記憶媒体は、CD-ROM (Compact Disk Read Only Memory) であることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 42】 前記記憶媒体は、CD-R (Compact Disk Recordable) であることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 43】 前記記憶媒体は、磁気テープであることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 44】 前記記憶媒体は、不揮発性メモリカードであることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【請求項 45】 前記記憶媒体は、ROM (Read Only Memory) チップであることを特徴とする請求項 25 乃至 35 または 36 記載の記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、文書ファイルを管理するための文書管理方法及びシステム並びにこの文書管理システムを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、文書や図面等の原稿画像を読み取って適宜編集し、その画像を磁気ディ

スク、光磁気ディスク等に記録して管理する管理システムが知られている。

【0003】

一般に、このような文書管理システムでは、原稿画像を読み取って得られた画像情報を圧縮してハードディスク或いは光ディスクに記録する。また、画像の検索を行うためのインデックス情報を画像情報と関連付けて記録している。このインデックス情報から必要な画像を検索して、画像情報を読み出してディスプレイに表示し、或いはその画像をプリンタで記録紙に出力する。また、必要に応じて画像の追加、編集や加工等、各種の画像処理を行う。

【0004】

図33は、従来の文書管理システム（ファイリングシステム）において、スキヤナを用いて原稿をスキヤンし、文書データベースにその画像を保存する場合のブロック図である。

【0005】

同図において、3400はスキヤナで、原稿画像を電氣的に読み取り、その読み取った画像を光電変換素子等によりデジタル信号に変換する。3401はスキヤナ制御手段で、スキヤナ3400の動作を制御する。3402はデータベース管理手段で、読み取った画像に対するインデックスと画像を管理する。3403はインデックス入力手段で、読み取った画像に対するインデックスを入力する。3404は文書データベースで、画像やインデックスの情報を保存する。尚、図34において矢印は情報の流れを示す。

【0006】

図34において、まず、スキヤナ3400で原稿から読み取られた画像は、スキヤナ制御手段3401を介してデータベース管理手段3402に送られる。また、インデックス入力手段3403において入力された画像に対するインデックス情報もデータベース管理手段3402に送られる。データベース管理手段3402では、スキヤナ制御手段3401から送られてきた画像に、インデックス入力手段3403から入力されたインデックス情報を付加して文書データベース3404に保存する。

【0007】

図 34 は、従来の文書管理システム（ファイリングシステム）において、文書データベースに対して検索手段を用いて所望の画像を検索する場合のブロック図である。

【0008】

同図において、3500 は文書データベースで、画像及び該画像に対するインデックスが保存されている。3501 はデータベース管理手段で、文書データベース 3500 を管理する。3502 は検索手段で、文書データベース 3500 から所望の画像を検索するもので、検索条件入力手段 3503 から入力された検索条件を基にして画像を検索することができる。3504 は検索結果リスト管理手段で、検索手段 3502 により検索した結果を管理するものである。3505 は検索結果リスト、3506 は画像表示部制御手段で、画像を表示する画像表示部 3507 を制御する。3508 はプリンタ制御手段で、画像をプリント出力するプリンタ 3509 を制御する。図 35 において矢印は情報の流れを示す。

【0009】

図 35 において、まず、検索条件入力手段 3503 から検索したい画像の条件を入力し、検索手段 3502 を用いてデータベース管理手段 3501 を介して文書データベース 3500 から条件に適合した画像を検索し、検索結果リスト管理手段 3504 を介して検索結果リスト 3505 に検索結果を出力する。

【0010】

検索結果リスト管理手段 3504 は、その検索結果リスト 3505 に基づき検索された文書の画像情報を識別マークの設定状況に応じて統合したりコピーしたり、プリンタ制御手段 3508 を介してプリンタ 3509 に送って画像をプリント出力させる等の動作を指示することができる。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】

上述した従来例にあつては、文書の記録操作と検索操作とが分離した構成となっており、更に、記録操作においても、画像のスキャンとインデックスの入力操作は固定した手順で行っていた。また、記録操作において、文書の記録とインデックスの入力は個々の文書毎に行っていた。

【0012】

このために、操作者はスキャン操作とインデックス入力操作を交互に行う必要があり、操作が繁雑となり、生産性も低かった。また、記録操作と検索結果は分離した構成となっていたので、誤操作により入力された誤ったデータは、一旦記録操作を終了した後に、検索結果を行ってから修正作業を行う必要があり、多くの操作ステップと操作時間を必要とした。

【0013】

これらの文書管理システムにおいて、複数の文書に対してそれぞれに識別マークを付加しておき、それらの識別マーク付き文書に対して一括した操作を行う方式が提案されているが、この方式は同一の識別マークを付加するのみであるため、複数の文書に対して操作に対する処理の順番が確定していなかった。従って、識別マークが付加された文書の処理の順番が重要な要素となる複数文書の統合や複写、移動等の処理を行う場合には、予期しない結果が生じる場合があり、誤操作の可能性も高かった。

【0014】

本発明は上述した従来の技術の有するこのような問題点に鑑みてなされたものであり、その第1の目的とするところは、優先順位のついた識別子が付加された複数の文書に対して、これらの文書を優先順位に従って一括して操作できるようにした文書管理方法及びシステムを提供することにある。

【0015】

また、本発明の第2の目的とするところは、上述した本発明の文書管理システムを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体を提供することにある。

【0016】

【課題を解決するための手段】

上記第1の目的を達成するため請求項1記載の文書管理方法は、複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理方法において、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理工程と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい

複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加工程と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行工程とを有することを特徴とする。

【0017】

また、上記第1の目的を達成するために請求項2記載の文書管理方法は、請求項1記載の文書管理方法において、前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする。

【0018】

また、上記第1の目的を達成するために請求項3記載の文書管理方法は、請求項1記載の文書管理方法において、前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする。

【0019】

また、上記第1の目的を達成するために請求項4記載の文書管理方法は、請求項1記載の文書管理方法において、前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする。

【0020】

また、上記第1の目的を達成するために請求項5記載の文書管理方法は、請求項1乃至3または4記載の文書管理方法において、前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする。

【0021】

また、上記第1の目的を達成するために請求項6記載の文書管理方法は、請求項1または5記載の文書管理方法において、前記識別子はマークであることを特徴とする。

【0022】

また、上記第1の目的を達成するために請求項7記載の文書管理システムは、複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムにおいて、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファ

イルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理手段と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加手段と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行手段とを有することを特徴とする。

【0023】

また、上記第1の目的を達成するために請求項8記載の文書管理システムは、請求項7記載の文書管理システムにおいて、前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする。

【0024】

また、上記第1の目的を達成するために請求項9記載の文書管理システムは、請求項7記載の文書管理システムにおいて、前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする。

【0025】

また、上記第1の目的を達成するために請求項10記載の文書管理システムは、請求項7記載の文書管理システムにおいて、前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする。

【0026】

また、上記第1の目的を達成するために請求項11記載の文書管理システムは、請求項7乃至9または10記載の文書管理システムにおいて、前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする。

【0027】

また、上記第1の目的を達成するために請求項12記載の文書管理システムは、請求項7または11記載の文書管理システムにおいて、前記識別子はマークで

あることを特徴とする。

【0028】

また、上記第1の目的を達成するために請求項13記載の文書管理方法は、複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理方法において、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理工程と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加工程と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行工程と、前記識別子に優先順位を表示させる表示工程とを有することを特徴とする。

【0029】

また、上記第1の目的を達成するために請求項14記載の文書管理方法は、請求項13記載の文書管理方法において、前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする。

【0030】

また、上記第1の目的を達成するために請求項15記載の文書管理方法は、請求項13記載の文書管理方法において、前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする。

【0031】

また、上記第1の目的を達成するために請求項16記載の文書管理方法は、請求項13記載の文書管理方法において、前記処理実行工程が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする。

【0032】

また、上記第1の目的を達成するために請求項17記載の文書管理方法は、請求項13乃至15または16記載の文書管理方法において、前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする。

【0 0 3 3】

また、上記第 1 の目的を達成するために請求項 1 8 記載の文書管理方法は、請求項 1 3 または 1 7 記載の文書管理方法において、前記識別子はマークであることを特徴とする。

【0 0 3 4】

また、上記第 1 の目的を達成するために請求項 1 9 記載の文書管理システムは、複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムにおいて、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理手段と、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加手段と、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行手段と、前記識別子に優先順位を表示させる表示手段とを有することを特徴とする。

【0 0 3 5】

また、上記第 1 の目的を達成するために請求項 2 0 記載の文書管理システムは、請求項 1 9 記載の文書管理システムにおいて、前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする。

【0 0 3 6】

また、上記第 1 の目的を達成するために請求項 2 1 記載の文書管理システムは、請求項 1 9 記載の文書管理システムにおいて、前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする。

【0 0 3 7】

また、上記第 1 の目的を達成するために請求項 2 2 記載の文書管理システムは、請求項 1 9 記載の文書管理システムにおいて、前記処理実行手段が行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴と

する。

【0038】

また、上記第1の目的を達成するために請求項23記載の文書管理システムは、請求項19乃至21または22記載の文書管理システムにおいて、前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする。

【0039】

また、上記第1の目的を達成するために請求項24記載の文書管理システムは、請求項19または23記載の文書管理システムにおいて、前記識別子はマークであることを特徴とする。

【0040】

また、上記第2の目的を達成するために請求項25記載の記憶媒体は、複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行モジュールとを有することを特徴とする。

【0041】

また、上記第2の目的を達成するために請求項26記載の記憶媒体は、請求項25記載の記憶媒体において、前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする。

【0042】

また、上記第2の目的を達成するために請求項27記載の記憶媒体は、請求項25記載の記憶媒体において、前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする。

【0043】

また、上記第2の目的を達成するために請求項28記載の記憶媒体は、請求項25記載の記憶媒体において、前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする。

【0044】

また、上記第2の目的を達成するために請求項29記載の記憶媒体は、請求項25乃至27または28記載の記憶媒体において、前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする。

【0045】

また、上記第2の目的を達成するために請求項30記載の記憶媒体は、請求項25または29記載の記憶媒体において、前記識別子はマークであることを特徴とする。

【0046】

また、上記第2の目的を達成するために請求項31記載の記憶媒体は、複数の文書ファイルを保存し且つ該ファイルを検索することが可能な文書管理システムを制御するための制御プログラムを格納した記憶媒体であって、前記制御プログラムは、記録済みファイルの属性情報とファイルの検索結果情報とファイルのインデックス情報とをファイル毎にまとめて単一の文書ファイルリストに掲載する文書ファイルリスト管理モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて同一の処理を施したい複数のファイルに対してファイルの検索結果とは独立した順位を持つ識別子を付加する識別子付加モジュールと、前記文書ファイルリストにおいて前記優先順位を持つ識別子を付加されたファイルに対してその優先順位に従って所定の処理を行う処理実行モジュールと、前記識別子に優先順位を表示させる表示モジュールとを有することを特徴とする。

【0047】

また、上記第2の目的を達成するために請求項32記載の記憶媒体は、請求項31記載の記憶媒体において、前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って統合することであることを特徴とする。

【0048】

また、上記第2の目的を達成するために請求項33記載の記憶媒体は、請求項31記載の記憶媒体において、前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従ってコピーすることであることを特徴とする。

【0049】

また、上記第2の目的を達成するために請求項34記載の記憶媒体は、請求項31記載の記憶媒体において、前記処理実行モジュールが行う所定の処理は、前記文書ファイルを優先順位に従って移動することであることを特徴とする。

【0050】

また、上記第2の目的を達成するために請求項35記載の記憶媒体は、請求項31乃至33または34記載の記憶媒体において、前記ファイルに対して検索結果とは独立して付加された優先順位を持つ識別子に対して優先順位に従った表示をさせることを特徴とする。

【0051】

また、上記第2の目的を達成するために請求項36記載の記憶媒体は、請求項31または35記載の記憶媒体において、前記識別子はマークであることを特徴とする。

【0052】

また、上記第2の目的を達成するために請求項37記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、フロッピーディスクであることを特徴とする。

【0053】

また、上記第2の目的を達成するために請求項38記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、ハードディスクであることを特徴とする。

【0054】

また、上記第2の目的を達成するために請求項39記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、光ディスクであることを特徴とする。

【0055】

また、上記第2の目的を達成するために請求項40記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、光磁気ディスクであることを特徴とする。

【0056】

また、上記第2の目的を達成するために請求項41記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、CD-ROM (Compact Disk Read Only Memory) であることを特徴とする。

【0057】

また、上記第2の目的を達成するために請求項42記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、CD-R (Compact Disk Recordable) であることを特徴とする。

【0058】

また、上記第2の目的を達成するために請求項43記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、磁気テープであることを特徴とする。

【0059】

また、上記第2の目的を達成するために請求項44記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、不揮発性メモリカードであることを特徴とする。

【0060】

更に、上記第2の目的を達成するために請求項45記載の記憶媒体は、請求項25乃至35または36記載の記憶媒体において、前記記憶媒体は、ROM (Read Only Memory) チップであることを特徴とする。

【0061】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の各実施の形態を図面に基づき説明する。

【0062】

(第1の実施の形態)

まず、本発明の第1の実施の形態を図1乃至図25に基づき説明する。

【0063】

図1は、本実施の形態に係る文書管理システムの構成を示すブロック図である。同図において、101は本実施の形態に係る文書管理システム全体の制御を行うための制御手段としてのCPU（中央処理装置）で、画像情報及び各操作の指示情報を伝達するための情報伝達手段であるバス118に接続されている。103は使用者に画像情報のイメージ、文書リスト等を表示するための出力手段としてのCRT（陰極線管）等よりなるディスプレイで、ディスプレイインターフェース回路102を通じてバス118に接続されている。105は使用者がこの文書管理システムの各動作を指示するための入力手段としてのポインティングデバイスを含むキーボードで、キーボードインターフェース回路4を通じてバス118に接続されている。

【0064】

107は被写体から画像情報を読み取る画像入力手段としてのスキャナで、スキャナインターフェース回路106を通じてバス118に接続されている。109は画像情報とそれぞれの画像情報を管理するための識別情報を保存する記録手段としての磁気ディスク或いは光磁気ディスク等の画像データ用メモリで、メモリインターフェース回路108を通じてバス118に接続されている。111は使用者が入力した様々なインデックス情報と画像識別情報とを関連付けて保存するためのデータベースが記録されている記録手段としてのインデックス／データベース用メモリで、メモリインターフェース回路110を通じてバス118に接続されている。

【0065】

113は本実施の形態に係る文書管理システムのプログラムを動作する際に使用するRAM（ランダムアクセスメモリ）等からなるプログラム動作メモリで、メモリインターフェース回路112を通じてバス118に接続されている。115は本実施の形態に係る文書管理システムのプログラムを保存するための磁気

ディスク或いは光磁気ディスク等のプログラム保存用メモリで、メモリインターフェース回路 114 を通じてバス 118 に接続されている。117 は本実施の形態に係る文書管理システムのプログラムが保存されているフロッピーディスク等を接続するためのディスクドライブ等の外部ディスク接続装置で、外部ディスクインターフェース回路 116 を通じてバス 118 に接続されている。120 は本実施の形態に係る文書管理システムにおいて保存されている文書の画像情報や文書リスト等をプリント出力するためのプリンタで、プリンタインターフェース回路 119 を通じてバス 118 に接続されている。

【0066】

通常、上述の構成になるハードウェアにおいて、文書管理システムを実現するためのプログラムはフロッピーディスク等により提供される。フロッピーディスク上のプログラムは、プログラムの使用（実行）に先立ち、外部ディスク接続装置 117 から読み込まれ、プログラム保存用メモリ 115 に保存される。次いで、プログラムは、プログラム動作メモリ 113 にロードされ、CPU 101 により実行される。

【0067】

図 2 は、本実施の形態に係る文書管理システムの処理の構成図である。同図において、200 は文書の情報としての画像を記録する画像記録部、201 は画像記録部 200 内のデータを整合性を維持して管理する画像記録部管理手段、202 は文書を検索するためのインデックスデータを記録するインデックスデータ記録部、203 はインデックスデータ記録部 202 内のデータを整合性を維持して管理するインデックスデータ記録部管理手段、204 は所望の文書を検索するための検索条件を入力する検索条件入力手段で、キーボードと検索条件入力画面とで構成される。205 はデータベースから所望の文書を検索するための検索手段である。206 は原稿から画像データを読み込むスキャナ、207 はスキャナ 206 の制御を行うスキャナ制御手段、208 はインデックスデータの入力を行うインデックス入力手段である。209 は文書リスト制御手段で、文書のリストを表示する文書リスト表示手段 210 の管理制御を行う。211 は文書の画像の制御を行う画像制御手段、212 は画像表示部制御手段で、画像表示部 213 を制

御して文書の画像表示を行う。214はプリンタ制御手段で、プリンタ213を制御して文書の画像情報を記録紙に出力する。

【0068】

文書リスト制御手段209は、文書リスト表示手段210を制御すると共に、インデックスデータ記録部管理手段203、画像制御手段211及びインデックス入力手段208に接続されている。

【0069】

画像制御手段211は、画像記録部管理手段201、文書リスト制御手段209、スキャナ制御手段207及び画像表示部制御手段212に接続されている。

【0070】

プリンタ制御手段214は、画像制御手段211に接続されている。

【0071】

上記構成において、文書の検索処理、文書の新規記録処理及びインデックスの入力処理の動作について、図3及び図4のフローチャートに基づき説明する。

【0072】

(文書の検索処理動作の説明)

使用者は検索条件入力手段204から所望の文書を検索するための検索条件を入力する。これは例えばキーワードである。入力された検索条件は検索手段205（一般に検索エンジンともいわれる）に渡され、この検索手段205はインデックスデータ記録部内のデータ管理を行っているインデックスデータ記録部管理手段203を経由して文書データベースから検索条件に一致する文書を探し出し、その結果を文書リスト制御手段209に出力する。

【0073】

文書リスト制御手段209は、その結果を文書リスト化すると共に、文書リスト表示手段210（一般にCRT及びCRTの制御回路で構成される）上に表示する。

【0074】

図3に従って説明すると、まず、ステップS301で検索手段205の検索結果、検索条件に一致する文書があるか否かを判断する。そして、検索条件に一致

する文書があると判断された場合は、次のステップ S 3 0 2 で検索結果リストを作成し、次のステップ S 3 0 3 で前記ステップ S 3 0 2 において作成した検索結果リストを文書リスト表示手段 2 1 0 上に表示した後、前記ステップ S 3 0 1 へ戻る。

【0075】

一方、前記ステップ S 3 0 1 において検索条件に一致する文書がないと判断された場合は、ステップ S 3 0 4 乃至ステップ S 3 0 7 の新規記録処理に進む。

【0076】

(新規記録処理動作の説明)

使用者はスキャナ制御手段 2 0 7 を起動し、スキャナ 2 0 6 から新規の文書を読み込む。スキャナ 2 0 6 は所定の枚数の原稿を読み込み、画像データを画像制御手段 2 1 1 に出力する。画像制御手段 2 1 1 は画像データを画像記録部管理手段 2 0 1 を経由して画像記録部 2 0 0 に記録すると共に、文書リスト制御手段 2 0 9 に新規文書生成情報を通知する。

【0077】

文書リスト制御手段 2 0 9 は通知された新規文書生成情報に基づき、既に表示している文書リストに追加して、新規のレコードを作成して表示する。このレコード内には作成日付、ページ数等のスキャナ 2 0 6 から入力された文書に対応するスキャン時に確定される文書属性を表示する。更新された文書属性は、インデックスデータ記録部管理手段 2 0 3 を経由してインデックスデータ記録部 2 0 2 に記録される。

【0078】

図 3 に従って説明すると、ステップ S 3 0 4 で新規記録であるか否かを判断する。そして、新規記録であると判断された場合は、次のステップ S 3 0 5 で新規レコードを追加し、次のステップ S 3 0 6 でリストの更新と表示（文書属性の表示）を行い、次のステップ S 3 0 7 でインデックスデータをインデックスデータ記録部 2 0 2 に記録した後、前記ステップ S 3 0 1 へ戻る。

【0079】

一方、前記ステップ S 3 0 4 において新規記録でないと判断された場合は、ス

テップ S 3 0 8 乃至ステップ S 3 1 1 のインデックス後付け処理に進む。

【 0 0 8 0 】

(インデックス後付け処理動作の説明)

使用者は文書リスト制御手段 2 0 9 へインデックス入力を開始する指示を行う。この指示により、文書リスト制御手段 2 0 9 はインデックス入力手段 2 0 8 からの出力を受け取るモードとなる。次に使用者はインデックス入力手段 2 0 8 から所定の（この場合は、前述の新規にスキャンした文書の）インデックスを入力する。入力されたインデックスは文書リスト制御手段 2 0 9 によりリスト上の所定の場所に表示される。入力されたインデックデータは、自動で或いは文書リスト制御手段 2 0 9 への使用者の指示により、インデックデータ記録部管理手段 2 0 3 を経由してインデックスデータ記録部 2 0 2 に記録される。

【 0 0 8 1 】

図 3 に従って説明すると、ステップ S 3 0 8 でインデックス後付けであるか否かを判断する。そして、インデックス後付けであると判断された場合は、次のステップ S 3 0 9 で選択レコードへのインデックス入力を行い、次のステップ S 3 1 0 でリストの更新と表示を行い、次のステップ S 3 1 1 でインデックデータをインデックスデータ記録部 2 0 2 に記録した後、前記ステップ S 3 0 1 へ戻る。

【 0 0 8 2 】

一方、前記ステップ S 3 0 8 においてインデックス後付けでないと判断された場合は、図 4 のステップ S 3 1 2 乃至ステップ S 3 1 6 のインデックス先付け処理に進む。

【 0 0 8 3 】

(インデックス先付け処理動作の説明)

インデックス情報を文書の入力に先立ち入力するインデックス先付け処理動作を説明する。

【 0 0 8 4 】

使用者は文書リスト制御手段 2 0 9 へインデックス先付けの指示を行う。この指示により、文書リスト制御手段 2 0 9 は文書リストへの最下端の新規レコードへ、現時点では画像データと関連を持たないインデックス入力を可能にする。次

に使用者はインデックス入力手段 208 から新規のインデックスデータを入力する。このデータは文書リスト制御手段 209 により文書リスト上に表示されると共に、必要に応じて、インデックスデータ記録部管理手段 203 を経由してインデックスデータ記録部 202 に記録される。

【0085】

図 4 に従って説明すると、ステップ S 312 でインデックス先付けであるか否かを判断する。そして、インデックス先付けであると判断された場合は、次のステップ S 313 で新規レコードを追加し、次のステップ S 314 で新規レコードへのインデックス入力を行い、次のステップ S 315 でリストの更新と表示を行い、次のステップ S 316 でインデックスデータをインデックスデータ記録部 202 に記録した後、前記図 3 のステップ S 301 へ戻る。

【0086】

一方、前記ステップ S 312 においてインデックス先付けでないと判断された場合は、図 4 のステップ S 317 乃至ステップ S 320 のインデックス先付けレコードへの画像の記録処理に進む。

【0087】

(インデックス先付けレコードへの画像の記録処理動作の説明)

使用者は前述したインデックス先付けレコードに対応する画像データの入力を行うことができる。使用者は、まず、文書リスト制御手段 209 に対して画像データの入力を行うインデックス先付けの行われたレコードを選択する操作を行う。次にスキャナ制御手段 207 によりスキャナ 206 から画像データを読み込む。画像データは画像制御手段 211 により画像表示部制御手段 212 を経由して画像表示部 213 へ送られると共に、画像記録部管理手段 201 へ送られ、画像記録部 200 に記録される。

【0088】

画像記録部 200 は記録した画像のアドレス情報を画像制御手段 211 を経由して或いは直接に文書リスト制御手段 209 へ渡す。また、画像制御手段 211 から文書リスト制御手段 209 へ文書ページ数等の読み込み情報が送られる。文書リスト制御手段 209 は、送られた前記読み込み情報をインデックスデータ記録

部管理手段 203 を経由してインデックスデータ記録部 202 に記録すると共に、文書リスト上の該当するレコードのステータスをインデックス先付けレコードから通常の文書へと変更する。更に、文書リスト制御手段 209 は文書リストの表示を更新する。

【0089】

尚、記録画像のアドレス情報は、画像記録部管理手段 201 からインデックスデータ記録部管理手段 203 へ直接渡すように構成することも可能である。

【0090】

図 4 に従って説明すると、ステップ S 317 で画像の追加記録であるか否かを判断する。そして、画像の追加記録であると判断された場合は、次のステップ S 318 でインデックス先付けレコードの選択を行い、次のステップ S 319 でリストの更新と表示（文書属性の更新）を行い、次のステップ S 320 で新規レコードの追加を行った後、前記図 3 のステップ S 301 へ戻る。

【0091】

一方、前記ステップ S 317 において画像の追加記録でないと判断された場合は、図 4 のステップ S 321 乃至ステップ S 322 のリストのクリア処理に進む。

【0092】

即ち、ステップ S 321 ではリストのクリアであるか否かを判断する。そして、リストのクリアであると判断された場合は、次のステップ S 322 で文書リストのクリアを行った後、前記図 3 のステップ S 301 へ戻る。

【0093】

一方、前記ステップ S 321 においてリストのクリアでないと判断された場合は、前記ステップ S 322 をスキップして、前記図 3 のステップ S 301 へ戻る。

【0094】

（画像情報の表示及び印刷処理動作の説明）

使用者は文書リストから任意のファイルを選択して、その画像情報の表示及び印刷を行うことができる。使用者が文書リストの任意のファイルを選択して、画

像の表示をキーボード 1 0 5（図 1 参照）等で指示すると、文書リスト制御手段 2 0 9 は、インデックスデータ記録部管理手段 2 0 3 を経由してインデックスデータ記録部 2 0 2 から選択されたファイルの画像の検索情報を得る。次に文書リスト制御手段 2 0 9 は、画像の検索情報と画像表示の指示情報を画像制御手段 2 1 1 に送る。画像制御手段 2 1 1 では、受け取った画像の検索情報を元に画像記録部管理手段 2 0 1 を経由して画像記録部 2 0 0 から画像情報を得て、その画像情報を画像表示部制御手段 2 1 2 へ送る。画像表示部制御手段 2 1 2 では、画像表示部 2 1 3 に受け取った画像情報を表示させる。

【 0 0 9 5 】

画像情報の印刷でも同様に、使用者が選択した画像情報を文書リスト制御手段 2 0 9 が画像の検索情報と画像の印刷の指示情報を画像制御手段 2 1 1 に送り、画像制御手段 2 1 1 では、受け取った画像の検索情報を元に画像記録部管理手段 2 0 1 を経由して画像記録部 2 0 0 から画像情報を得て、その画像情報をプリンタ制御手段 2 1 4 へ送る。プリンタ制御手段 2 1 4 では、受け取った画像情報をプリンタ 2 1 5 に印刷させる。

【 0 0 9 6 】

次に、以上の動作を文書リスト上の動作から更に詳細に説明する。

【 0 0 9 7 】

（文書リストの構成の説明）

図 5 は、本実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの外観図であり、同図において、W は文書リストである。この文書リスト W は、文書リスト制御手段 2 0 9 により生成され、C R T 上に表示される。この文書リスト W には、検索結果のファイルとスキャナ 2 0 6 から入力された新規ファイルとが表示されている。5 0 1 はファイルの状態を示すプロパティ列、5 0 2 はリスト上の番号を示すファイルナンバー列、5 0 3、5 0 4 は各文書のインデックス項目であり、5 0 5 は各ファイルのページ数、5 0 7 はスキャナ 2 0 6 で被写体の画像を記録した日付を示す作成日付である。インデックス項目 5 0 3、5 0 4 に関しては、図示しないデータベース構造設定手段により使用者が文書の種類に応じて自由に設計することができる。図 5 の例では、文書管理のためのインデックス情報

として、文書のタイトルを示すタイトル 503、文書の章の区切りを示す章 504 及び文書の評価を表わすランク 506 を加えている。また、これらの列の順番は、任意に入れ替えることができる。

【0098】

また、図 5 に示した文書リスト W は、画像記録済ファイルとインデックスのみを先に入力したインデック先付けファイルを、同一画面上に、明確に区別がつくように表示している。508、509 は、プロパティ列 501 内の各ファイルの状態を示すアイコンであり、アイコン 508 はファイルに画像情報が既に記録されていることを示し、アイコン 509 はファイルに画像情報がまだ記録されておらずインデックス先付けファイルであることを示す。

【0099】

図 5 に示した文書リスト W では、510、511 の範囲で示すファイルナンバーが「1」から「10」のファイルは画像記録済みのファイルであり、512 の範囲で示すファイルナンバーが「11」から「15」のファイルはインデック先付けファイルであることが容易に判別できる。

【0100】

尚、510 の範囲のファイルは、検索手段 205 により検索されて表示された画像情報とインデックス情報が記録されている既存ファイルを、511 の範囲のファイルは、画像情報は保存されているがインデックス情報が入力されていない新規ファイルを、512 の範囲のファイルはインデックス情報のみが記録されているインデックス先付けファイルを示している。

【0101】

図 6 及び図 7 は、文書リスト W 上で検索処理動作を行った場合の外観図である。図 6 の文書リスト W は、検索条件を付けずに保存されている文書の全件を表示した状態を示しており、動作の説明を行うための初期状態の一例を示している。ここで使用者が検索条件入力手段 204 に検索条件としてランク列の”A”を入力すると、検索手段 205 は検索条件からインデックスデータ記録部管理手段 203 を経由してインデックスデータ記録部 202 から検索条件に一致するレコード（ファイル）を探し出し、その結果を文書リスト制御手段 209 に出力する。

文書リスト制御手段 209 では、その結果を元に文書リストを作成して、文書リスト表示手段 210 上に表示する。

【0102】

上記のような検索処理動作によって作成されて表示された文書リスト W の外観図が図 7 である。

【0103】

（新規記録処理動作の説明）

図 8 及び図 9 は、文書リスト W 上で新規記録処理動作を行った場合の外観図である。図 8 は、新規記録処理前の文書リストを示している。ここで、スキナ 206 を用いて新規の文書を読み込み、文書リスト制御手段 209 に新規文書生成情報を通知する。文書リスト制御手段 209 は、通知された新規文書生成情報に基づき既に表示している文書リストに追加して新規のレコードを作成して表示する。作成、更新された文書属性は、インデックスデータ記録部管理手段 203 を経由してインデックスデータ記録部 202 に記録される。

【0104】

上記のような新規文書の記録動作によって作成されて表示された文書リスト W の外観図が図 9 であり、ファイルナンバー「4」、「5」、「6」番のレコード（ファイル）が作成され、画像情報のスキャンに対応したページ数、作成日付、ファイルの属性を示すプロパティ列のアイコンが表示されている。

【0105】

（インデックス後付け処理動作の説明）

図 10 及び図 11 は、文書リスト W 上でインデックス情報の後付け処理を行った場合の外観図である。使用者は文書リスト制御手段 209 へインデックス入力を開始する指示を行う。この指示により、図 10 に示すように、文書リスト制御手段 209 はインデックス入力手段 208 からの出力を受け取るモードとなる。次に使用者はインデックス入力手段 208 から所定のインデックスを入力する。入力されたインデックスは文書リスト制御手段 209 により文書リスト W 上の所定の場所に表示される。入力されたインデックスデータは、自動で或いは文書リスト制御手段 209 への使用者の指示により、インデックスデータ記録部管理手

段 203 を経由してインデックスデータ記録部 202 へ記録される。

【0106】

1つのインデックス項目への入力動作を終了すると次の（例えば右隣の）インデックス項目への入力動作へ移ることもできる。同様に、1つのレコード（ファイル）へのインデックス入力動作を終了すると次の（例えば図の下側）レコード（ファイル）へのインデックス入力動作へ移ることもできる。例えば、図10の例ではファイルナンバー「4」番のタイトル列からインデックス入力を開始して、図11に示すようにファイルナンバー「6」番のランク列まで連続してインデックス入力を行った場合を示している。

【0107】

更に、入力する列を指定して（例えばChapterとRankのみ）指定した列のみへの連続入力を行うこともできる。

【0108】

（インデックス先付け処理動作の説明）

図12及び図13は、文書リストW上でインデックス情報の先付け処理を行った場合の外観図である。使用者は文書リスト制御手段209へインデックス先付けの指示を行う。この指示により、図12に示すように、文書リスト制御手段209は文書リストWへの最下端の新規レコードへ、現時点では画像データと関連を持たないインデックス入力を可能にする。次に使用者はインデックス入力手段208から新規のインデックスデータを入力する。このインデックスデータは文書リスト制御手段209により文書リストW上に表示されると共に、必要に応じてインデックスデータ記録部管理手段203を経由してインデックスデータ記録部202へ記録される。

【0109】

1つのインデックス項目への入力動作を終了すると次のインデックス項目への入力動作へ移ることもできる。同様に、1つのレコード（ファイル）へのインデックス入力動作を終了すると別のレコード（ファイル）へのインデックス入力動作へ移ることもできる。このときに画像データと関連を持たないファイルがインデックス先付けファイルとして作成される。例えば、図12の例では新規ファイ

ルのタイトル列からインデックス入力を開始して、図 13 に示すようにファイルナンバー「9」番の章列まで連続してインデックス入力を行った場合を示しており、ファイルナンバー「7」、「8」、「9」番のインデックス先付けファイルが作成された例を示している。

【0110】

(インデックス先付けレコードへの画像の記録処理動作の説明)

図 14 及び図 15 は、文書リスト W 上でインデックス情報の先付けファイルに対して画像の記録処理を行った場合の外観図である。使用者は文書リスト制御手段 209 に対して、画像データの入力を行うインデックス先付け処理の行われたレコードを選択する操作を行う。次にスキャナ制御手段 207 によりスキャナ 206 から画像データを読み込む。画像データは画像制御手段 211 により画像表示部制御手段 212 を経由して画像表示部 213 へ送られると共に、画像記録部管理手段 201 へ送られ、画像記録部 200 に記録される。画像記録部 200 は、記録した画像のアドレス情報を画像制御手段 211 を経由して或いは直接に文書リスト制御手段 209 へ渡す。

【0111】

また、画像制御手段 211 から文書リスト制御手段 209 へ文書ページ数等の読み込み情報が送られる。文書リスト制御手段 209 は、前記読み込み情報をインデックスデータ記録部管理手段 203 を経由してインデックスデータ記録部 202 へ記録すると共に、文書リスト W 上の該当するレコードのステータスをインデックス先付けレコードから通常の文書へと変更する。更に、文書リスト制御手段 209 は、文書リスト W の表示を更新する。

【0112】

以上のような新規文書の記録動作によって作成された文書リスト W の外観図が図 15 であり、ファイルナンバー「7」、「8」、「9」番のファイルに画像情報が入力されて文書リスト W 上でページ数、作成日付、フィルの属性を示すプロパティ列のアイコンの表示が更新されている。

【0113】

これらの文書リスト W においてそれぞれの所望のファイルに優先順位の表示さ

れた識別マークを付けておき、この優先順位の表示された識別マークが付けられたファイルに対して一括した操作を行う例を以下に示す。

【0 1 1 4】

尚、以下、この優先順位の表示された識別マークのことを優先順位識別マークと記述する。優先順位識別マークは各ファイルに対するマークであり、文書ファイルに対して一括して付けたり外したりすることができるものである。

【0 1 1 5】

図 1 6 は、一括して操作したいファイルが諸処に分散して検索表示されている文書リスト W の代表的な例を示す図である。同図の文書リスト W では、操作したいファイルに対してそのプロパティ列に優先順位の高い★印識別マーク 7 2 a と優先順位の低い■印識別マーク 7 2 b とが複数のファイルに対して表示されている。これらの優先順位識別マーク 7 2 は、複数のファイルを順次処理するときの処理の順番を決定するために使用される。

【0 1 1 6】

図 1 7 乃至図 2 5 は、1 つに統合したい複数のファイルが諸処に分散して検索表示されている文書リスト W とそれらのファイルの統合動作を説明するための図である。

【0 1 1 7】

図 1 7 の文書リスト W には、統合したいファイルに対して優先順位の高さを示す数値の入った優先順位識別マーク 7 2 の①から⑤がプロパティ列に入力されている。優先順位識別マーク 7 2 が付けられているファイルは、例えば 1 つの本の章のようなものであり、別々に文書リスト W に登録されてしまったが 1 つのファイルにまとめてしまいたいとき等に以下に述べるようなファイル統合の操作を行うことになる。

【0 1 1 8】

ファイル統合は、従来であれば上位のファイルから行われていたので、この例では、No. 1－3－5－8－9 の順番に従って統合されたファイルが作成されるところであった。

【0 1 1 9】

本実施の形態におけるファイルの統合は、具体的には優先順位識別マーク 72 が付けられているファイルを優先順位の最も高い識別マークが付けられているファイル (A) - No. 3 に統合させるようにしたもので、図 18 は、図 17 の文書リスト W における優先順位識別マーク 72 の付いたファイルを 1 つに統合した結果を示している。

【0120】

また、図 19 乃至図 21 は、優先順位識別マーク 72 が付いていて統合されるファイルの様子を示している。

【0121】

図 19 では、文書リスト W の左側部分をファイルの代表として示しているが、この文書リスト W から統合したいファイル No. 1, 3, 5, 8, 9 が取り出されて 1 つのファイルとして図 21 の No. 2 ファイルにまとめられる様子を示している。

【0122】

図 20 は、前記した 5 つのファイルを優先順位に従って統合した結果として作成されたファイル (C) - No. 2 の様子を示す図である。この (C) - No. 2 ファイルは、①から⑤の優先順位識別マークの順番に従って統合されて 1 つのファイルになったものである。その順番は No. 3-1-8-9-5 となっており、それぞれのファイルに含まれているページ数 36, 23, 8, 22, 10 が統合された結果、(C) - No. 2 は 99 ページのファイルとなっている。

【0123】

図 21 は、統合操作を実行した後の文書リスト W を示す図である。No. 2 のファイルが統合結果としてのファイルであり、ページ数は 99 と表示されている。

【0124】

次に、本実施の形態に係る文書管理システムにおける優先順位識別マーク 72 を付ける動作について、図 22 に従い説明する。

【0125】

図 22 は、本実施の形態に係る文書管理システムの動作の流れを示すフローチ

ャートである。

【0126】

まず、ステップS2201で検索結果のファイルを文書リストWに表示させ、次のステップS2202で文書リストWの最初のファイルを選択する。次にステップS2203でファイルの内容を確認した結果、次のステップS2204でファイルの内容から統合するファイルであるか否かを判断する。そして、統合するファイルであると判断された場合は、ステップS2205で何番目に統合したいかを決めて、そのファイルの統合優先順位を決定する。次にステップS2206でそのファイルに対して決定した優先順位の付いた優先順位識別マーク72を付ける。次にステップS2207で文書リストWの最終ファイルまでの操作を終了したか否かを判断する。そして、最終ファイルまでの操作を終了したと判断された場合は、次のステップS2208で次に統合したいファイルに選択を進めた後、前記ステップS2203へ戻る。

【0127】

一方、前記ステップS2204において統合するファイルでないと判断された場合は、ステップS2209で選択ファイルを次のファイルに進めた後、前記ステップS2203へ戻る。

【0128】

一方、前記ステップS2207において最終ファイルまでの操作を終了しないと判断された場合は、ステップS2210で優先順位識別マーク付け操作を終了した後、本処理動作を終了する。

【0129】

図22では、ファイルの内容を確認するとすぐにファイル統合の優先順位が決定できるときを想定したが、優先順位識別マーク72を付ける際に優先順位が確定していない場合も考えられる。

【0130】

図17乃至図21に示すように優先順位が数値で表示されている識別マークを付けるとき、その順番が操作前に確定していないときや後から統合したいファイルが発見される場合等は、その順位を表わす数値が設定できない。そのような場

合には、優先順位識別マーク 7 2 を付ける際に優先順位の同じものがあったときは、それ以下の順位のもものが自動的に繰り下がるようにしたものである。

【0 1 3 1】

この場合の操作を図 2 3 及び図 2 4 を用いて説明する。

【0 1 3 2】

まず、文書リスト W のファイルに対して図 2 3 のプロパティ列に付けられたような No. 1, 3, 5, 8, 9 のファイルがそれぞれの優先順位を持って数値で表示された優先順位識別マークで示されている。そこへ新たに No. 4 のファイルも加えて統合する必要がある場合に、No. 4 のファイルに③の優先順位を持つ識別マークを付ける操作を行うと、自動的にそれ以降の③、④、⑤のマークの優先順位が繰り下がって表示される。その時の様子を示したものが図 2 4 である。このように優先順位識別マーク 7 2 の優先順位は、そのマークを付ける際にその連続した数値が繰り上がったたり繰り下がったりできるようにすることも可能である。

【0 1 3 3】

図 2 5 は、優先順位識別マーク 7 2 が付けられた文書リスト W において第 1 優先ファイル①の付けられたファイルへの統合を指示したときの動作の流れを示すフローチャートである。この場合の文書リスト W の例は図 1 9 乃至図 2 1 に示されている。

【0 1 3 4】

図 2 5 において、まず、ステップ S 2 5 0 1 で文書リスト W を検索した結果のファイルを表示させてから、次のステップ S 2 5 0 2 で表示されているファイルの識別マークの優先順位を調べる。次にステップ S 2 5 0 3 で第 1 優先に統合するファイルであるか否かを判断する。そして、第 1 優先に統合するファイルであると判断された場合は、次のステップ S 2 5 0 4 で第 1 優先ファイルを統合先としてファイルの統合を開始する。次にステップ S 2 5 0 5 で次の優先順位のファイルであるか否かを判断する。そして、次の優先順位のファイルであると判断された場合は、次のステップ S 2 5 0 6 で統合先ファイルに現ファイルを追加統合する。次にステップ S 2 5 0 7 で最終優先ファイルの統合が終了したか否かを判

断する。そして、最終優先ファイルの統合が終了しないと判断された場合は、次のステップ S 2508 で次に統合したいファイルに選択を進めた後、前記ステップ S 2505 へ戻る。

【0135】

一方、前記ステップ S 2503 において、第 1 優先に統合するファイルでないと判断された場合は、ステップ S 2509 でファイルの選択を次に進めた後、前記ステップ S 2503 へ戻る。

【0136】

一方、前記ステップ S 2505 において、次の優先順位のファイルでないと判断された場合は、ステップ S 2510 でファイルの選択を次に進めた後、前記ステップ S 2505 へ戻る。

【0137】

一方、前記ステップ S 2507 において、最終優先ファイルの統合が終了したと判断された場合は、ステップ S 2511 で優先順位識別マーク付きファイルの統合操作を終了した後、本処理動作を終了する。

【0138】

以上詳述したように、記録や検索を行うことができる文書管理システムにおいて、記録と検索リストが一体になった文書リスト W を用いて、インデックスの入力が必要なファイルに対して優先順位が表示されている優先順位識別マーク 72 を付けておき、その優先順位識別マーク 72 が付いた複数のファイルに対して一括してファイルの統合操作を行うことにより、1 つの文書リスト W でファイルの統合する順位を確認しながらファイルの統合操作を行うことができるので、操作性が非常に良くなる。

【0139】

尚、上述した実施の形態では、文書リスト W に表示されたファイルに対して 1 ファイルずつ優先順位識別マーク 72 を付ける場合について説明したが、複数の文書をまとめて選択して優先順位識別マーク 72 を付けてから優先順位を設定するようにしても良い。また、ファイル番号を指定して優先順位識別マーク 72 を付けるようにしても良い。

【 0 1 4 0 】

また、上述した実施の形態におけるファイルの統合では、第 1 優先のファイルに対して他の選択ファイルを統合する方式について説明したが、ファイルの統合に関しては統合先のファイルとして特定したファイルを用意しても良いし、新規にファイルを作成してそのファイルに対してファイルの統合を行っても良い。

【 0 1 4 1 】

すべての例をファイルに対する操作で説明したが、これらの操作はページでも同様のことが可能であることは勿論である。

【 0 1 4 2 】

また、本実施の形態に係る文書管理システムは、記憶媒体に格納された制御プログラムをコンピュータが読み出して実行することにより、上述した本実施の形態の機能が実現されるものであるが、本発明はこれに限定されるものではなく、前記制御プログラムの指示に基づきコンピュータ上で稼働している OS（オペレーティングシステム）等の実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって上述した本実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【 0 1 4 3 】

また、制御プログラムを格納する記憶媒体としては、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM（Compact Disk Read Only Memory）、CD-R（Compact Disk Recordable）、磁気テープ、不揮発性メモリカード、ROMチップ等を用いることができる。

【 0 1 4 4 】

（第 2 の実施の形態）

次に本発明の第 2 の実施の形態を図 2 6 乃至図 2 8 に基づき説明する。

【 0 1 4 5 】

尚、本実施の形態に係る文書管理システムの基本的な構成は、上述した第 1 の実施の形態の図 1 及び図 2 と同一であるから、その説明は省略する。

【 0 1 4 6 】

本実施の形態は、文書リストWにおいて、優先順位識別マーク72が付いたファイルを一括して他の文書リストWへコピーするときの方式に要旨があるものである。

【0147】

複数のファイルを他の文書リストWへコピーするときに、コピーされる先の文書リストWに表示される順番に影響されることがあるが、このようなときに一括してコピーするファイルに対して優先順位を持った優先順位識別マークを付与しておくことでコピーの順番を制御することができるので、コピー先の文書リストWでのファイルの管理を容易に行うことができる。

【0148】

図26は、本実施の形態に係る文書管理システムにおける優先順位識別マーク72が付けられた文書リストWから優先順位識別マーク72の付いたファイルを一括して他の文書リストWへコピーするときの様子を示す図で、ファイルNo. 1, 3, 5, 8, 9が一括してコピーされる様子を示している。文書リストW2上ではファイルはコピーされた順に並べられるので、従来の優先順位が付けられていないときは、ファイルは優先順位が②、①、⑤、③、④の順に並ぶことになるが、本実施の形態の方式を用いることによって、図27のように優先順位に従って①、②、③、④、⑤の順番に並ぶようにコピーすることができる。

【0149】

図28は、本実施の形態に係る文書管理システムの動作の流れを示すフローチャートである。このフローチャートでは、優先順位識別マーク72の優先順位に従ってファイルをコピーする方式が示されている。

【0150】

まず、ステップS2801で文書リストWに検索したファイルを表示させ、次のステップS2802で表示されたファイルの優先順位識別マークの優先順位を調べる。次にステップS2803で第1優先にコピーするファイルであるか否かを判別する。そして、第1優先にコピーするファイルであると判断された場合は、次のステップS2804でそのファイルを所定の文書リストWにコピーする。次にステップS2805で次の優先順位のファイルであるか否かを判断する。そ

して、次の優先順位のファイルであると判断された場合は、次のステップ S 2 8 0 6 でそのファイルを所定の文書リスト W にコピーする。次にステップ S 2 8 0 7 で全ての優先順位識別マーク付きファイルのコピーが終了したか否かを判断する。そして、全ての優先順位識別マーク付きファイルのコピーが終了しないと判断された場合は、次のステップ S 2 8 0 8 で次にコピーしたい画像があるファイルに選択を進めた後、前記ステップ S 2 8 0 5 へ戻る。

【0 1 5 1】

一方、前記ステップ S 2 8 0 3 において、第 1 優先にコピーするファイルでないと判断された場合は、ステップ S 2 8 0 9 でファイルの選択を次に進めた後、前記ステップ S 2 8 0 3 へ戻る。

【0 1 5 2】

一方、前記ステップ S 2 8 0 5 において、次の優先順位のファイルでないと判断された場合は、ステップ S 2 8 1 0 でファイルの選択を次に進めた後、前記ステップ S 2 8 0 5 へ戻る。

【0 1 5 3】

一方、前記ステップ S 2 8 0 7 において、全ての優先順位識別マーク付きファイルのコピーが終了したと判断された場合は、ステップ S 2 8 1 1 で優先順位識別マーク付きファイルのコピーを終了した後、本処理動作を終了する。

【0 1 5 4】

本実施の形態においては、ファイルをコピーする例を挙げたが、複数のファイルを他の文書ファイルに移す方法として、ファイルの追加、移動、エクスポート等のときにも応用できることは勿論である。

【0 1 5 5】

(第 3 の実施の形態)

次に本発明の第 3 の実施の形態を図 2 9 乃至図 3 3 に基づき説明する。

【0 1 5 6】

尚、本実施の形態に係る文書管理システムの基本的な構成は、上述した第 1 の実施の形態の図 1 及び図 2 と同一であるから、その説明は省略する。

【0 1 5 7】

本実施の形態は、文書リストW上の優先順位識別マーク72が付いたファイルを優先順位に従って一時的に並べ替える方式に要旨があるものである。

【0158】

優先順位識別マークは、そのファイルに対して付けられたマークであるが、この優先順位識別マークが付けられるファイルに対して一時的にその優先順位の順番に所定の操作を行いたい場合がある。例えば一部のファイルについてのみ連続した番号のリストを所定の領域にデータベースから貼り付けてインデックスとし、再度元の表示に戻したいとき等である。このような操作を行いたい場合に、優先順位識別マークに順位を持たせた結果、その順位に従ってファイルを並べ替えることができるようになり、文書リストW上のファイルを一時的に並べ替えることで前述した方式のインデックス後付け等の操作を手軽に行うことが可能となった。

【0159】

図29は、Rankの内容の順番に並べられて分類されている文書リストWにおいて、Titleがfunction specとなっているファイルの中の一部のファイルに対して優先順位識別マーク72が付けられた例を示す図である。この例において、優先順位識別マーク72が付けられたファイルだけを集めて検索すると、優先順位が②、④、①、⑤、③の順に並ぶことになるが、本実施の形態の方式を用いて優先順位の順番に並べ替えることで、図30のような優先順位に並べることができる。図30において、インデックス後付けの領域(Chapter)は“□”で表示してある。

【0160】

このような並べ替えを行った結果、例えば図31のXで示す5つのインデックス等の他のデータベース等から持ってきたインデックス情報をそのまま貼り付けたり、順番にインデックス情報を入力したりすることが可能となる。

【0161】

図32では、Chapterの領域にインデックス情報をX、XYZ-1...5というデータをそのまま貼り付けることができるようになった。ファイルのNo.は変更されていないので、何時でも簡単に図33に示すように元の文書リスト

Wに戻すことによって、一時的な並べ替えが解消され、以降継続して優先順位識別マーク 7 2 を使用した操作を行うことができる。

【0 1 6 2】

(その他の実施の形態)

上述した各実施の形態では、文書リスト W の対象となる優先順位識別マーク付きファイルに対して、ファイルの統合とコピー、インデックス後付けを行う場合の方式について説明した。しかしながら、この方式は、ファイルのエクスポート、インデックス先付け、ファイルの移動、表示ページの移動、表示ファイルの移動、インデックス修正ファイルの移動等、文書リスト W において任意の複数のファイル或いはページに対して優先順位を付けながら一括して操作する際には、全て同様の効果があることは勿論である。

【0 1 6 3】

【発明の効果】

以上詳述したように本発明の文書管理方法及びシステムによれば、検索結果の文書リストの表示順位とは独立した優先順位を持つことが可能な識別子をそれぞれのファイルに対して設定できるようにして、その識別子付きファイルに対して各種の一括した操作を行う方式を用いることによって、一括した操作に対するファイル単位の実行順位が操作実行前に明確に設定できるようになる。これによって、複数のファイルに対して連続した操作を実行する場合に、実行ファイルの順位が重要な意味を持つような操作においては、操作性が改善されると共に、誤操作を低減させることが可能となる。

【0 1 6 4】

また、本発明の記憶媒体によれば、上述した本発明の文書管理システムを容易に制御することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムのハードウェア構成を示すブロック図である。

【図 2】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムのソフトウェア処理構成を示すブロック図である。

【図 3】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リスト制御手段の動作の流れを示すフローチャートである。

【図 4】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リスト制御手段の動作の流れを示すフローチャートである。

【図 5】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 6】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 7】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 8】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 9】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 0】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 1】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 2】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 3】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 4】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 5】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストの動作を説明するための図である。

【図 1 6】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 1 7】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 1 8】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 1 9】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 2 0】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 2 1】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明

するための図である。

【図 2 2】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける優先順位識別マークを付ける方式の動作の流れを示すフローチャートである。

【図 2 3】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける優先順位識別マークを付けるときの文書リストの一例を示す図である。

【図 2 4】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける優先順位識別マークを付けるときの文書リストの一例を示す図である。

【図 2 5】

本発明の第 1 の実施の形態に係る文書管理システムにおける動作の流れを示すフローチャートである。

【図 2 6】

本発明の第 2 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 2 7】

本発明の第 2 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 2 8】

本発明の第 2 の実施の形態に係る文書管理システムにおける動作の流れを示すフローチャートである。

【図 2 9】

本発明の第 3 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 3 0】

本発明の第 3 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 3 1】

本発明の第 3 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 3 2】

本発明の第 3 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 3 3】

本発明の第 3 の実施の形態に係る文書管理システムにおける文書リストを説明するための図である。

【図 3 4】

従来の文書管理システムのソフトウェア処理構成を示すブロック図である。

【図 3 5】

従来の文書管理システムのソフトウェア処理構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

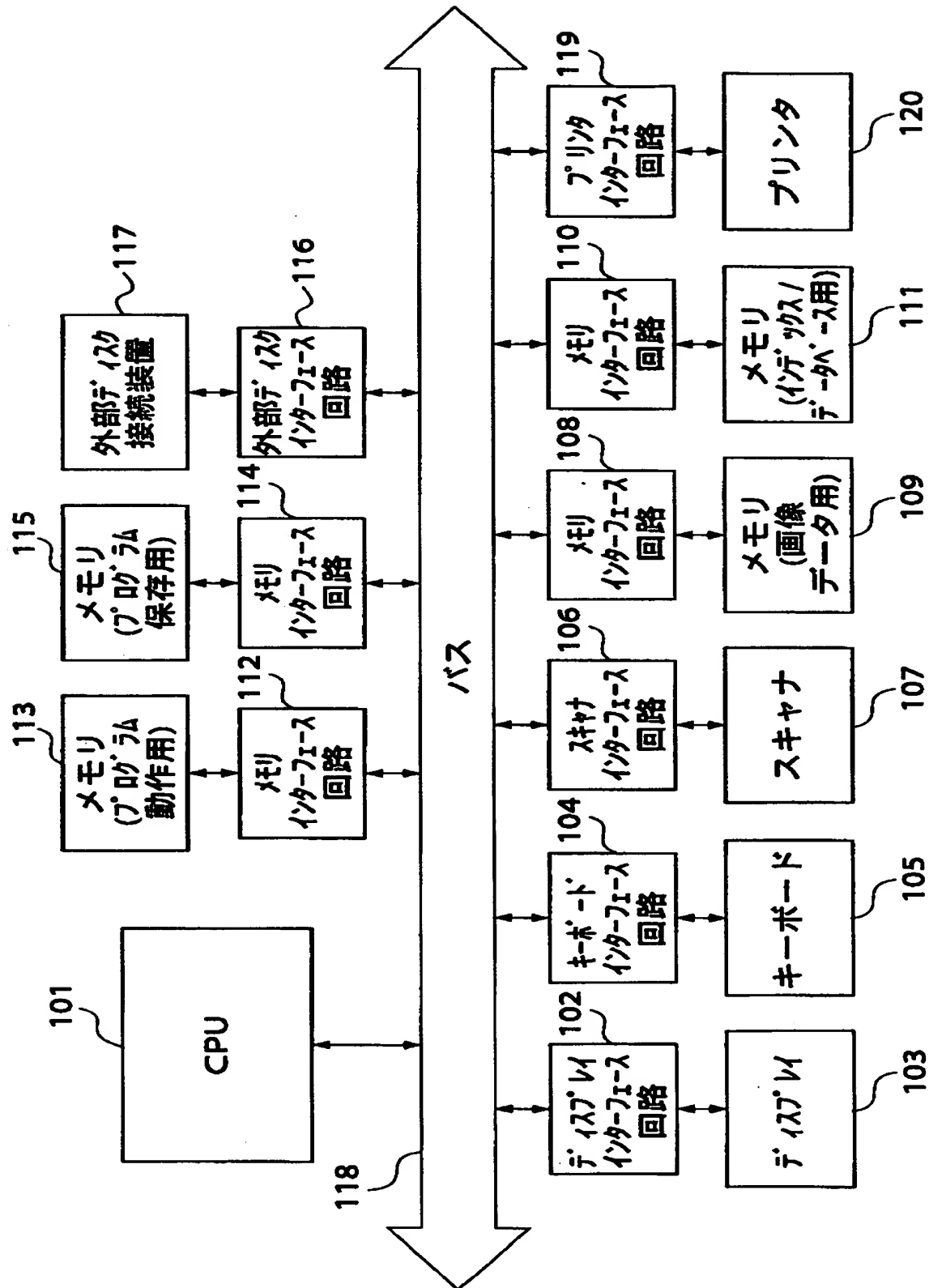
- 1 0 1 CPU
- 1 0 2 ディスプレイインターフェース回路
- 1 0 3 ディスプレイ
- 1 0 4 キーボードインターフェース回路
- 1 0 5 キーボード
- 1 0 6 スキャナインターフェース回路
- 1 0 7 スキャナ
- 1 0 8 メモリインターフェース回路
- 1 0 9 メモリ（画像データ用）
- 1 1 0 メモリインターフェース回路
- 1 1 1 メモリ（インデックスデータベース用）
- 1 1 2 メモリインターフェース回路
- 1 1 3 メモリ（プログラム動作用）
- 1 1 4 メモリインターフェース回路
- 1 1 5 メモリ（プログラム保存用）
- 1 1 6 外部ディスクインターフェース回路

- 1 1 7 外部ディスク接続装置
- 1 1 8 バス
- 1 1 9 プリンタインターフェース回路
- 1 2 0 プリンタ
- 2 0 0 画像記録部
- 2 0 1 画像記録部管理手段
- 2 0 2 インデックスデータ記録部
- 2 0 3 インデックスデータ記録部管理手段
- 2 0 4 検索条件入力手段
- 2 0 5 検索手段
- 2 0 6 スキャナ
- 2 0 7 スキャナ制御手段
- 2 0 8 インデックス入力手段
- 2 0 9 文書リスト制御手段
- 2 1 0 文書リスト表示手段
- 2 1 1 画像制御手段
- 2 1 2 画像表示部制御手段
- 2 1 3 画像表示部
- 2 1 4 プリンタ制御手段
- 2 1 5 プリンタ

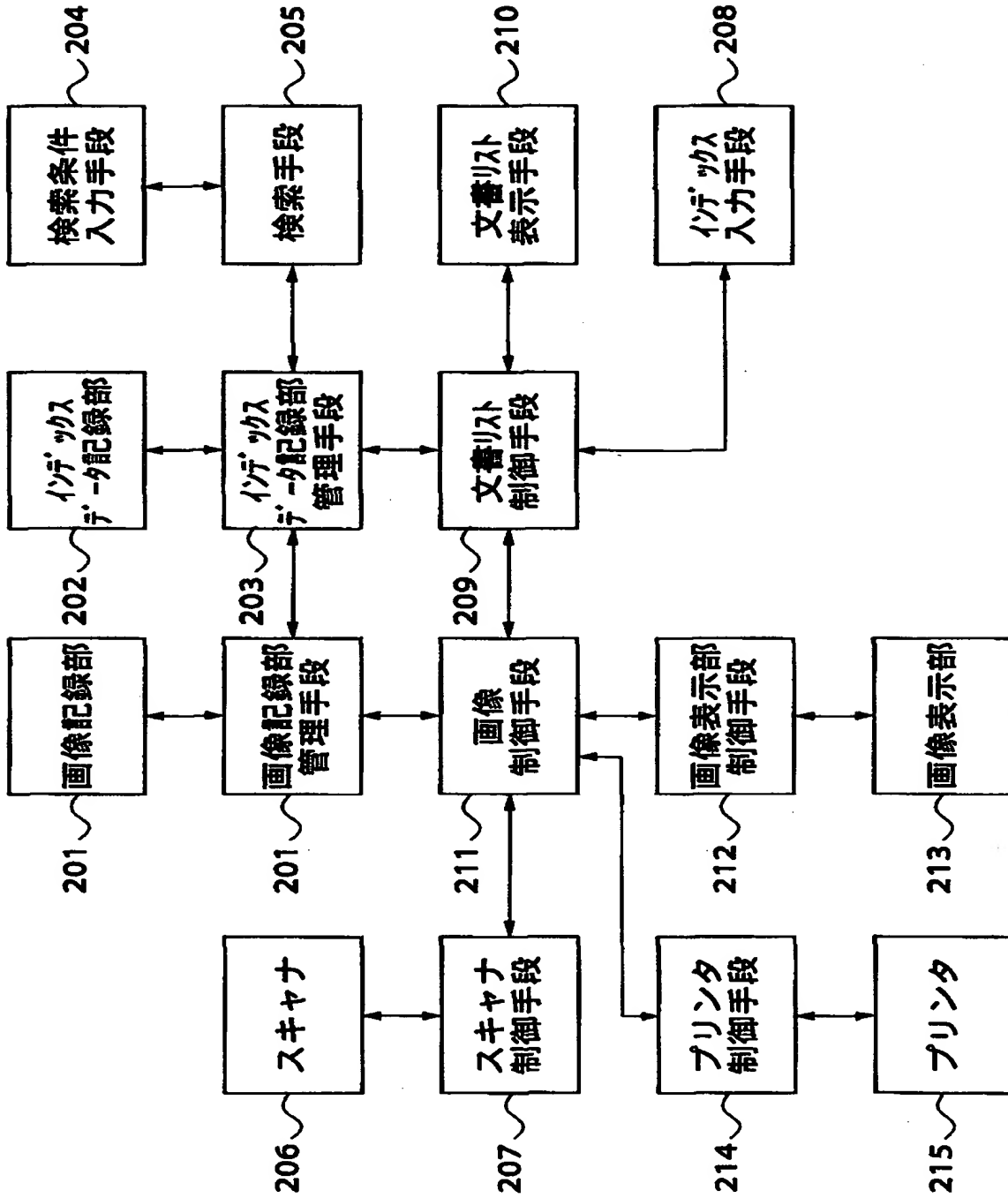
【書類名】

図面

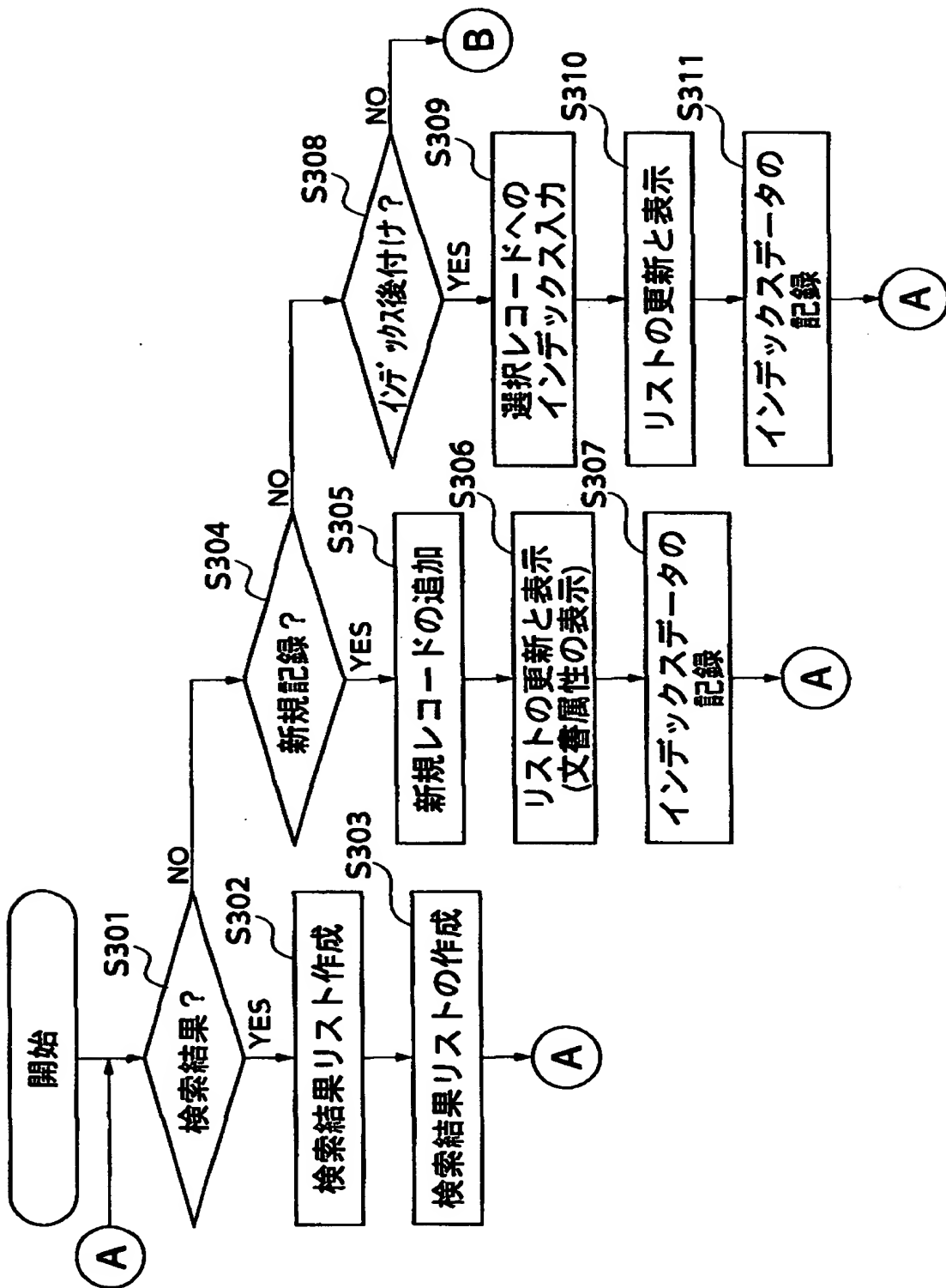
【図 1】



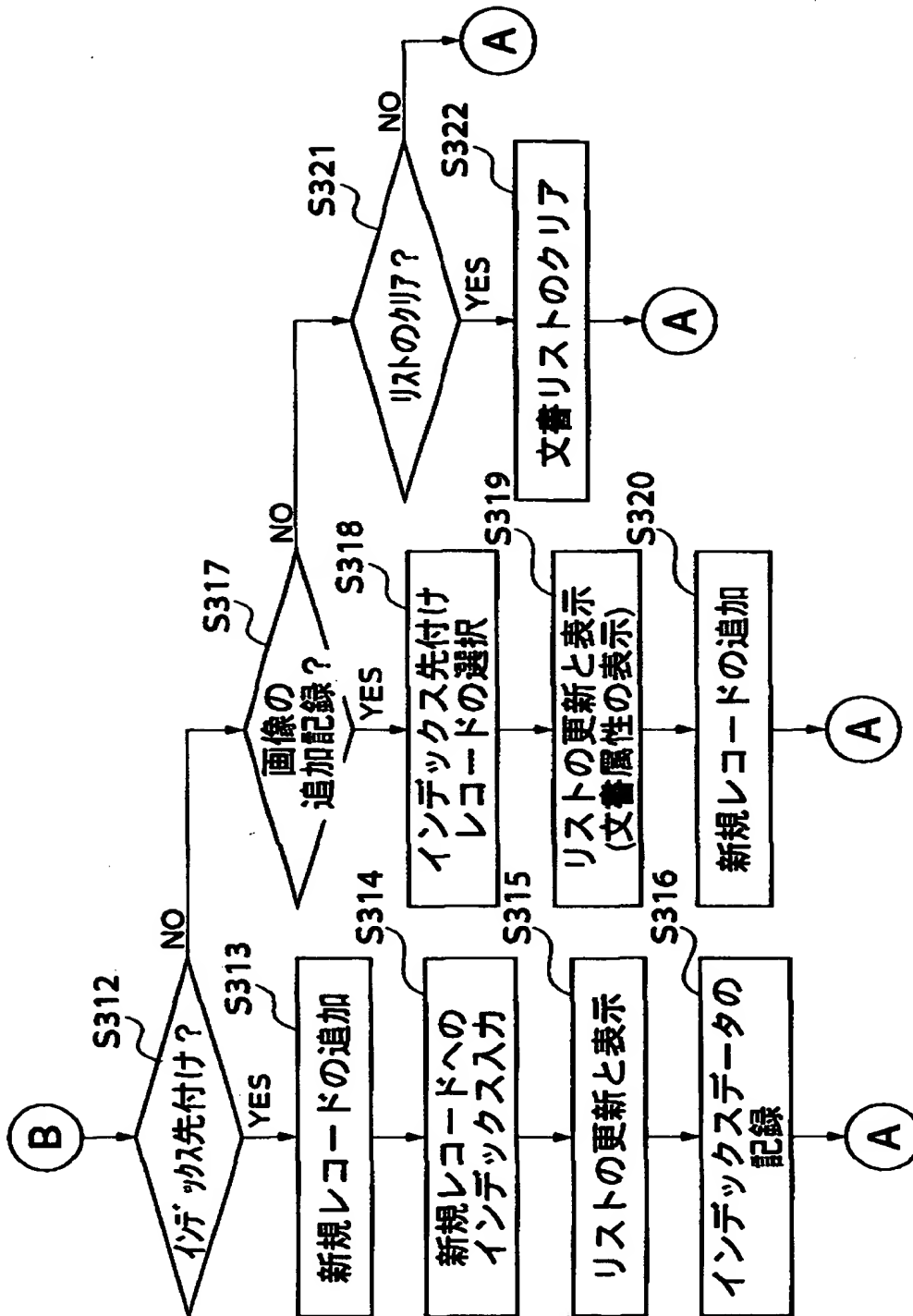
【図 2】



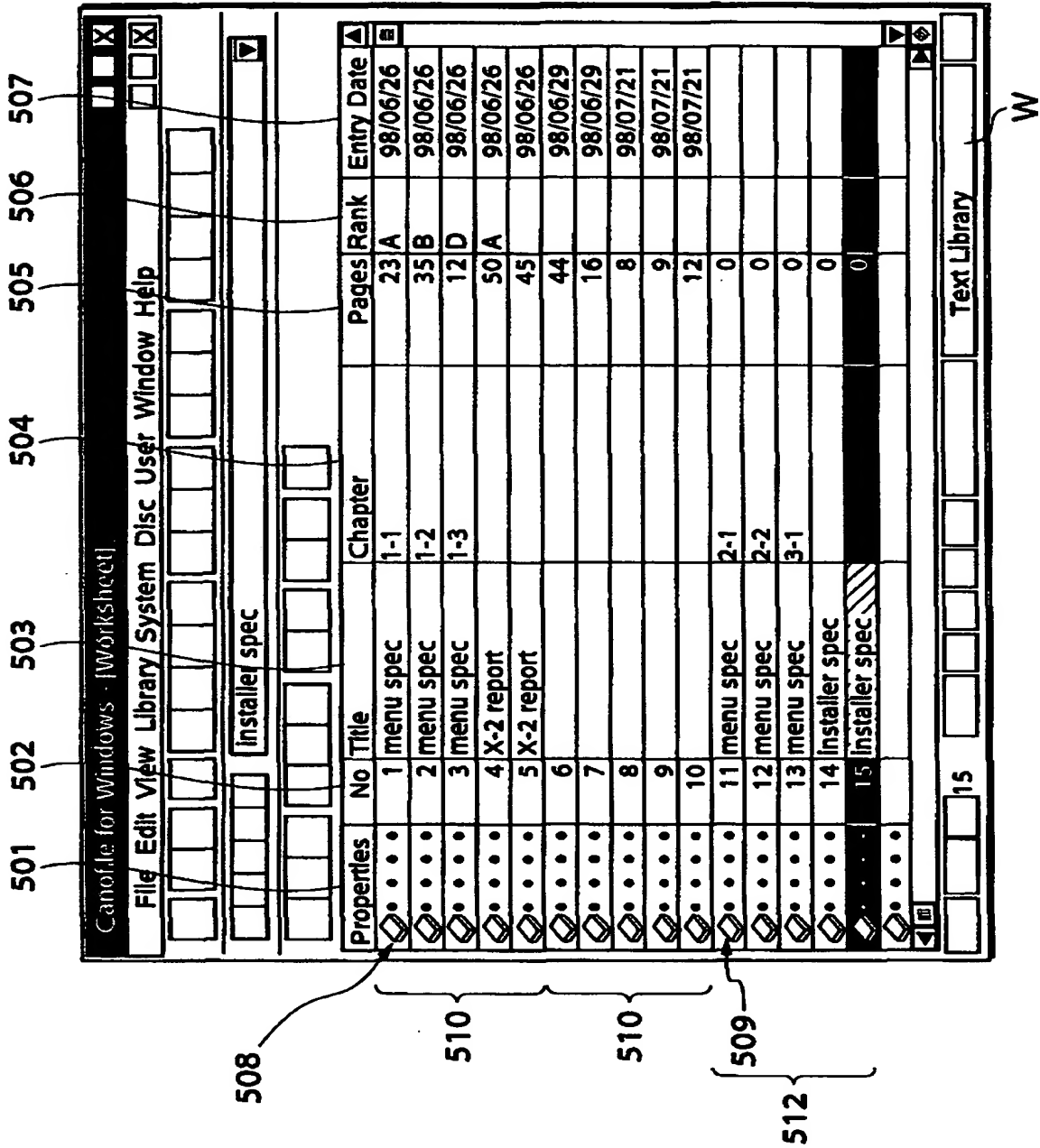
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	menu spec	1-2	35	B	98/06/26
◆	3	menu spec	1-3	12	D	98/06/26
◆	4	function spec	10	3	C	98/07/21
◆	5	function spec	12	5		98/07/21
◆	6	X-2 report		50		98/07/21
◆	7	X-2 report		45		98/07/21
◆	8	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	9	menu spec	2-1	12	B	98/07/21
◆	10	menu spec	2-2	14	B	98/07/21
◆	11	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	12	X-1 report		50		98/07/21
◆	13	X-1 report		50		98/07/21
◆	14	function spec	11	10	C	98/07/21
◆						

15 Text Library

W

【図 7】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

menu spec

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆						

1 Text Library

W

【図 8】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

menu spec

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆						

1 Text Library

W

【図 9】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	4			10		98/07/21
◆	5			10		98/07/21
◆	6			5		98/07/21
◆						

7 Text Library

W

【図 1 0】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	4			10		98/07/21
◆	5			10		98/07/21
◆	6			5		98/07/21
◆	*					

4 Text Library

W

【図 1 1】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

Properties No Title Chapter Pages Rank Entry Date

◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
◆	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
◆	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
◆	*					

6 Text Library

W

【図 1 2】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

Properties No Title Chapter Pages Rank Entry Date

◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
◆	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
◆	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
◆						

7 Text Library

W

W

【図 1 4】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

X-11 report

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1 (all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
◆	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
◆	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
◆	7	X-11 report	1	0		
◆	8	X-11 report	2	0		
◆	9	X-12 report	1	0		
◆						

9 Text Library

W

【図 1 5】

Canofile for Windows - [Worksheet]

File Edit View Library System Disc User Window Help

X-12 report

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	Entry Date
◆	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
◆	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
◆	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
◆	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
◆	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
◆	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
◆	7	X-11 report	1	12		98/07/21
◆	8	X-11 report	2	8		98/07/21
◆	9	X-12 report	1	22		98/07/21
◆						

9 Text Library

W

【図 1 6】

W

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72a ○ ★	1	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
72b ○	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
72a ○ ■	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
72b ○	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
72a ○	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
72b ○ ★	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
72a ○	7	X-11 report	1	12		98/07/21
72b ○ ■	8	X-11 report	2	8		98/07/21
72a ○	9	X-12 report	1	22		98/07/21

【図 1 7】

W

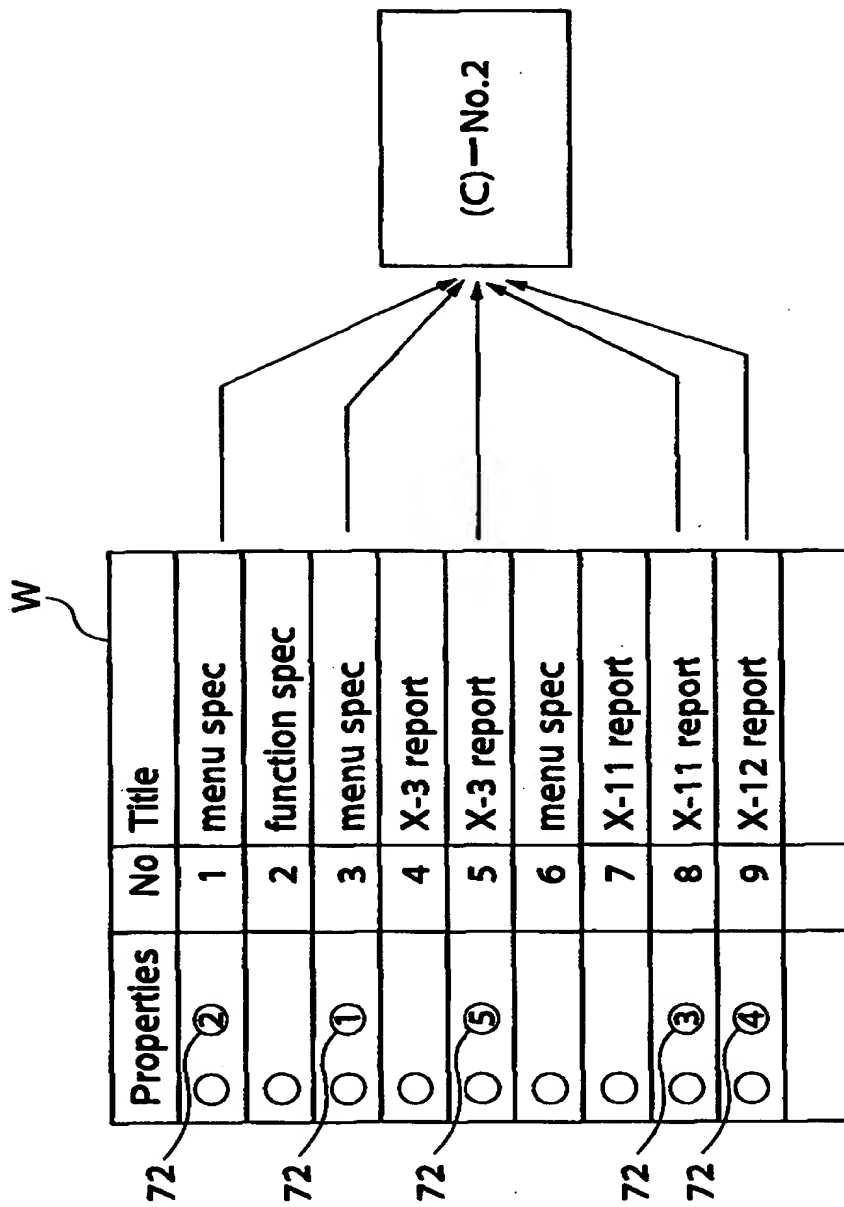
Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ②	1	function spec	3	23	A	98/06/26
72 ○	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
72 ○ ①	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
72 ○	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
72 ○ ⑤	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
72 ○	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
72 ○	7	X-11 report	1	12		98/07/21
72 ○ ③	8	figure 3	2	8		98/07/21
72 ○ ④	9	X-3 report	1	22		98/07/21

【図 1 8】

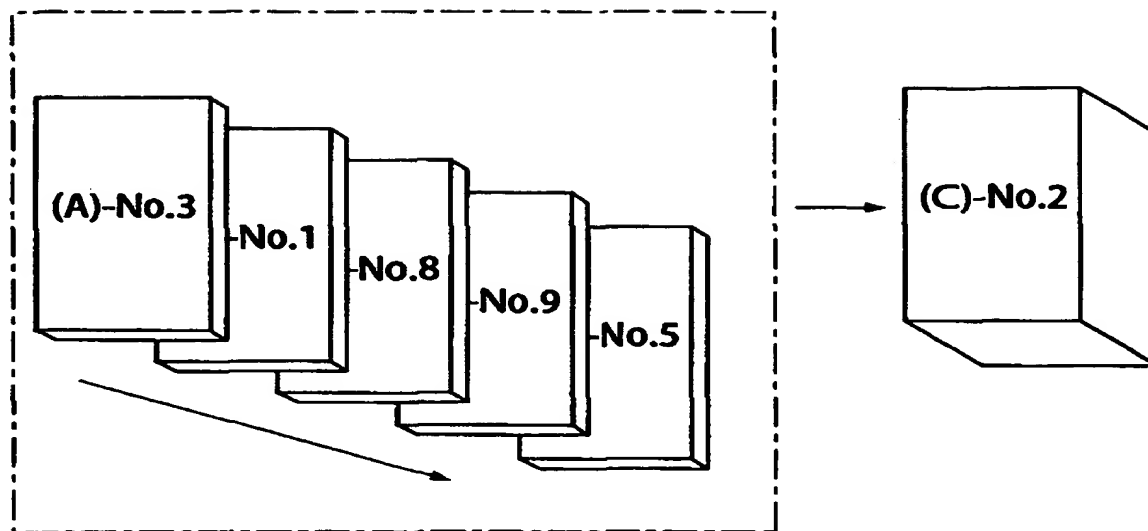
W

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
○	1	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
○	2	menu spec	3-1	99	A	98/12/24
○	3	X-3 report	1	10	C	98/07/21
○	4	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
○	5	X-11 report	1	12		98/07/21

【図 1 9】



【図 2 0】

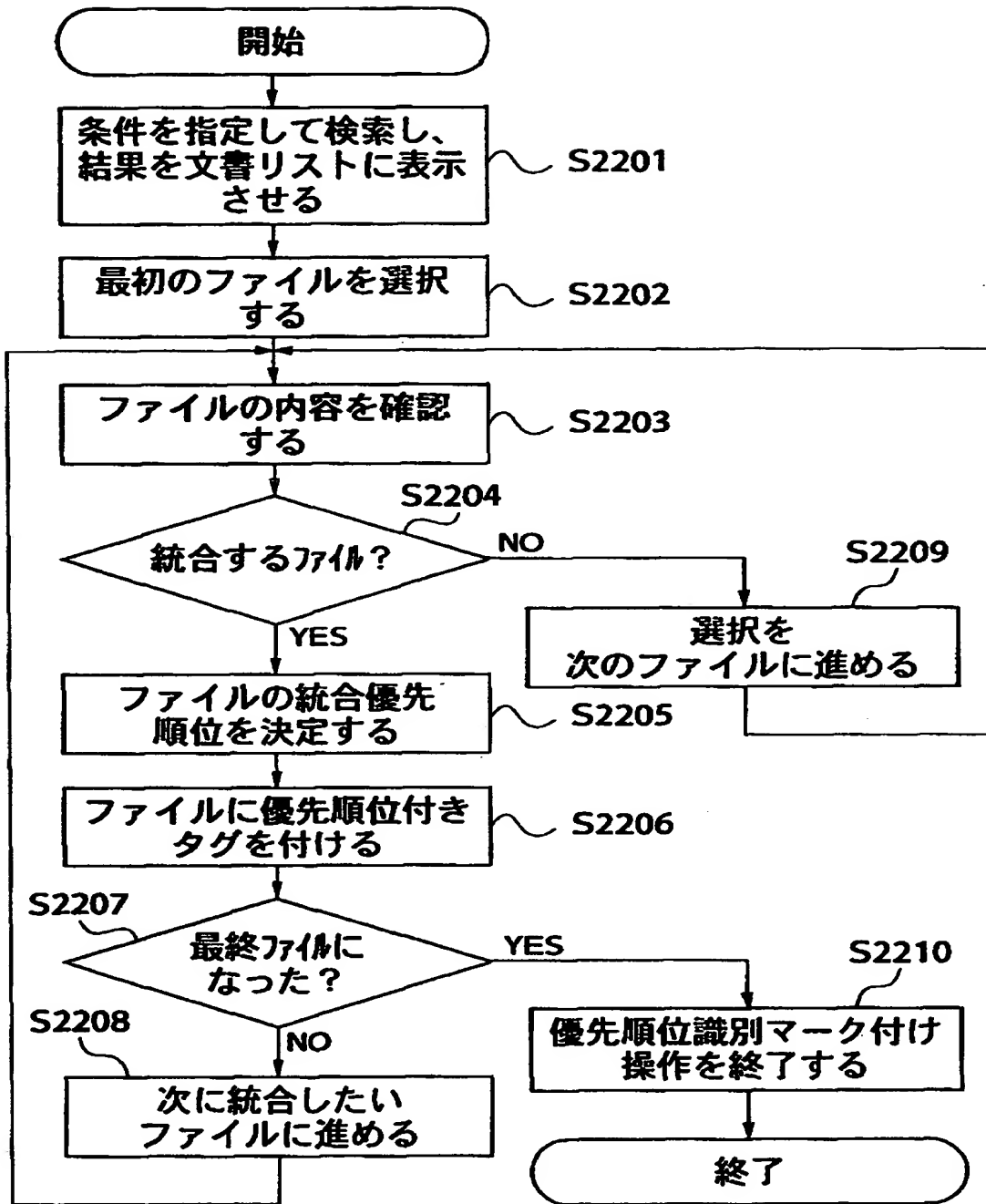


【図 2 1】

W

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
○	1	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
○	2	menu spec	3-1	99	A	98/12/24
○	3	X-3 report	1	10	C	98/07/21
○	4	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
○	5	X-11 report	1	12		98/07/21

【図 22】



【図 2 3】

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ②	1	function spec	3	23	A	98/06/26
72 ○	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
72 ○ ①	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
72 ○	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
72 ○ ⑤	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
72 ○	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
72 ○	7	X-11 report	1	12		98/07/21
72 ○ ③	8	figure 3	2	8		98/07/21
72 ○ ④	9	X-3 report	1	22		98/07/21

W

【図 2 4】

W

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
○ ②	1	function spec	3	23	A	98/06/26
○	2	function spec	1(all)	32	A	98/07/21
○ ①	3	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
○ ③	4	X-3 report	1	10	C	98/07/21
○ ⑥	5	X-3 report	2	10	C	98/07/21
○	6	menu spec	3-2	5	B	98/07/21
○	7	X-11 report	1	12		98/07/21
○ ④	8	figure 3	2	8		98/07/21
○ ⑤	9	X-3 report	1	22		98/07/21

72

72

72

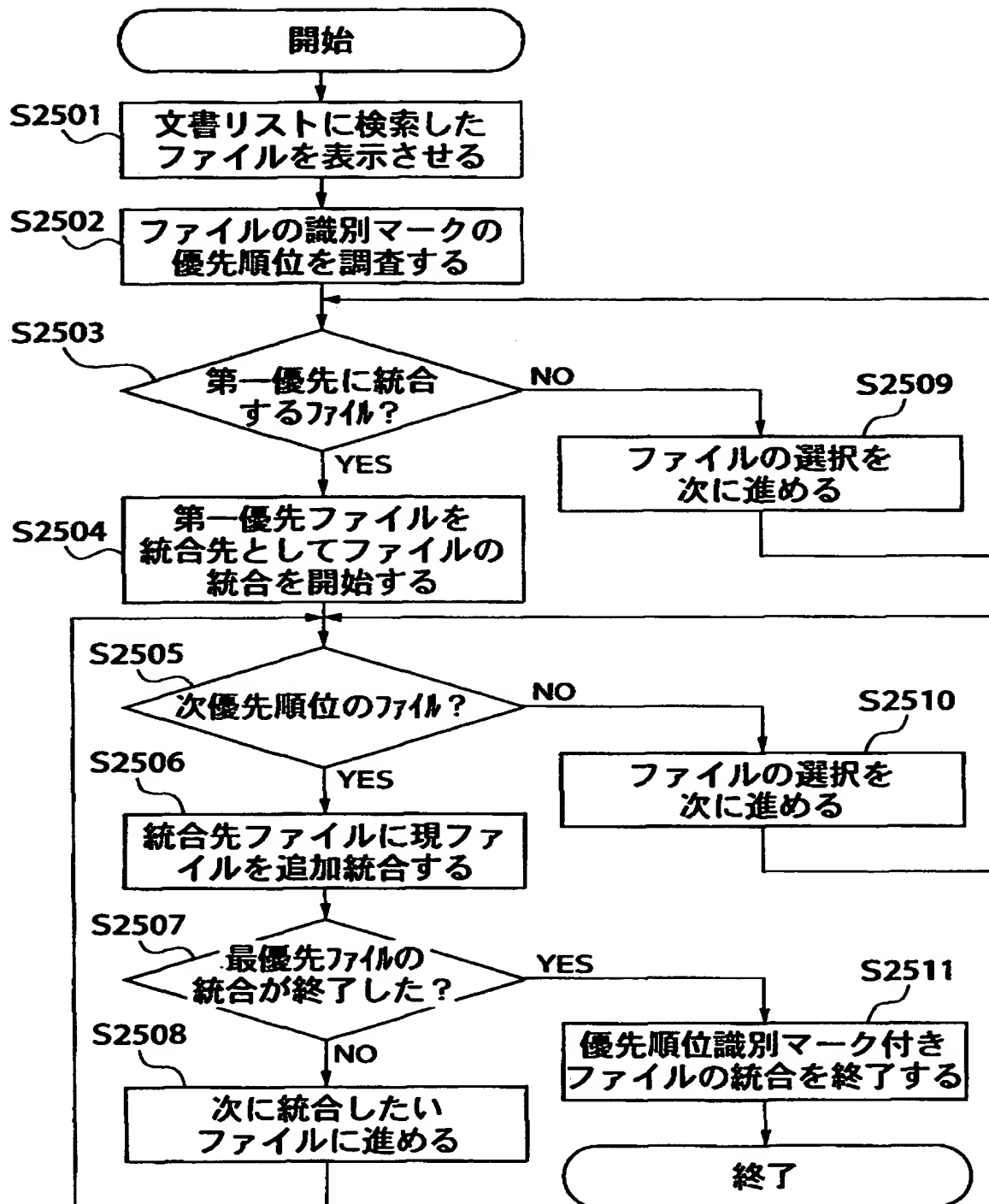
72

72

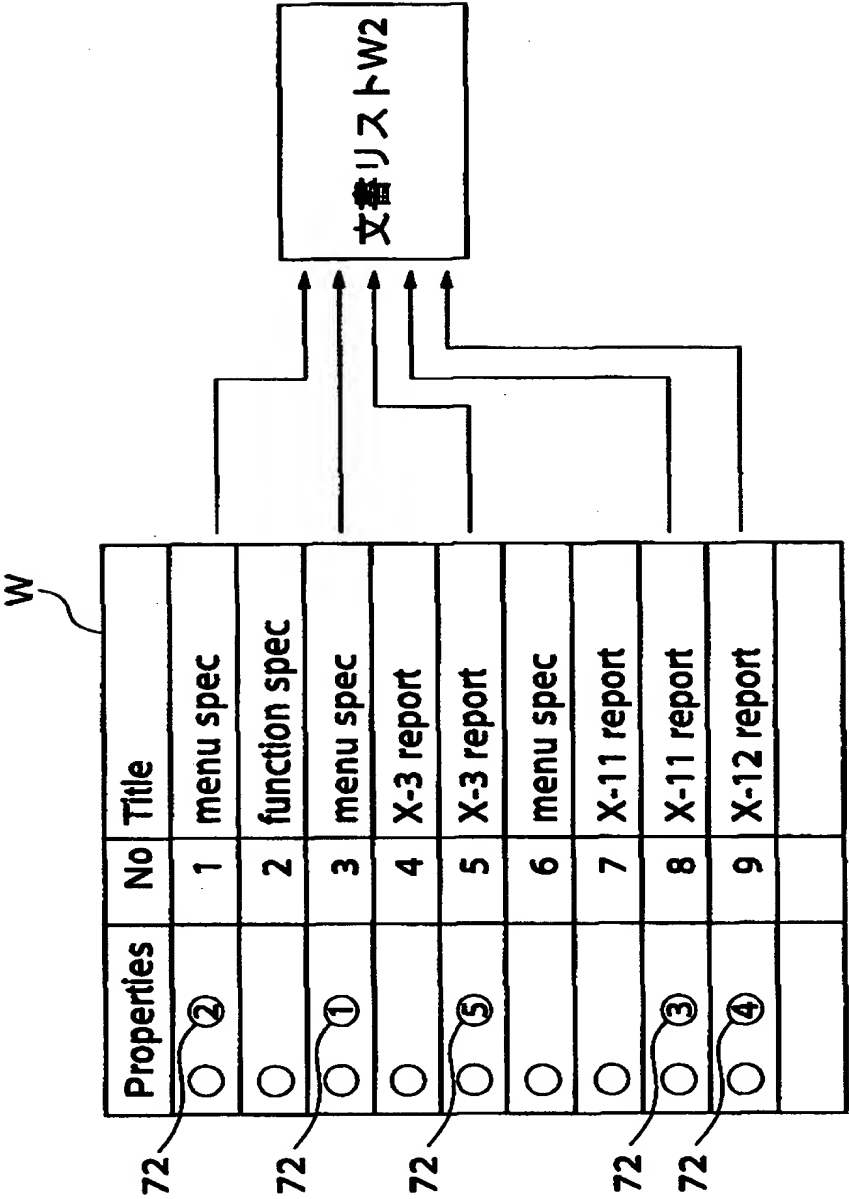
72

72

【図 25】



【図 2 6】

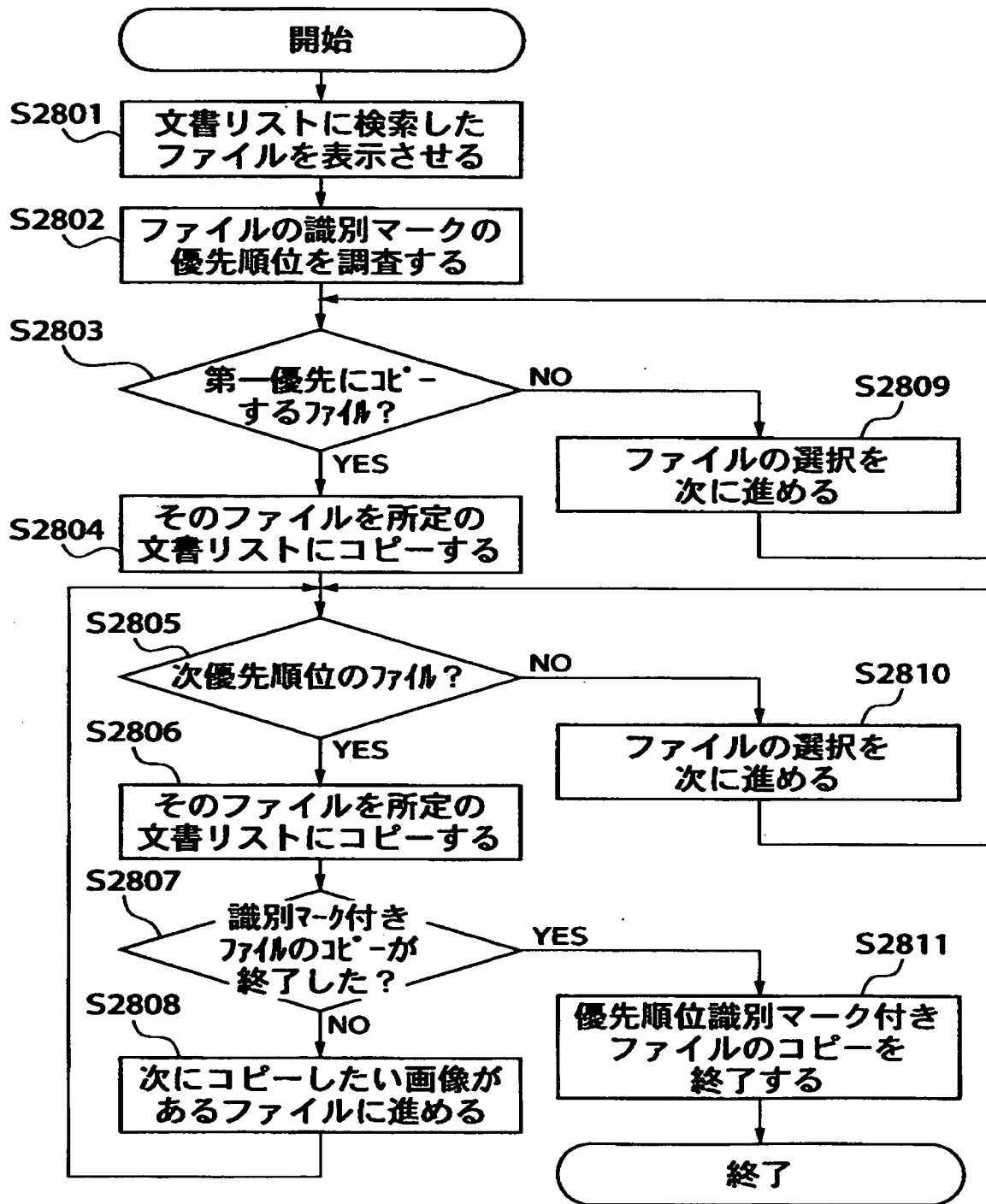


【図 2 7】

W2

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ①	1	menu spec	3-1	36	A	98/07/21
72 ○ ②	2	menu spec	1-1	23	A	98/06/26
72 ○ ③	3	X-11 report	2	8		98/07/21
72 ○ ④	4	X-12 report	1	22		98/07/21
72 ○ ⑤	5	X-13 report	2	10	C	98/07/21

【図 28】



【図 2 9】

W

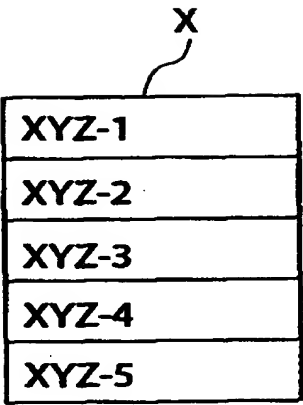
Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ②	1	function spec		23	A	98/06/26
72 ○ ④	2	function spec		32	A	98/07/21
72 ○ ①	3	function spec		36	B	98/07/21
72	4	X-3 report		10	B	98/07/21
72 ○ ⑤	5	function spec		10	B	98/07/21
72 ○	6	menu		5	C	98/07/21
72 ○ ③	7	function spec		12	C	98/07/21
○	8	X-11 report		8	D	98/07/21
○	9	function spec		22	E	98/07/21

【図 3 0】

W

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ①	3	function spec	<input type="checkbox"/>	36	B	98/07/21
72 ○ ②	1	function spec	<input type="checkbox"/>	23	A	98/06/26
72 ○ ③	7	function spec	<input type="checkbox"/>	12	C	98/07/21
72 ○ ④	2	function spec	<input type="checkbox"/>	32	A	98/07/21
72 ○ ⑤	5	function spec	<input type="checkbox"/>	10	B	98/07/21
○	4	X-3 report		10	B	98/07/21
○	6	menu		5	C	98/07/21
○	8	X-11 report		8	D	98/07/21
○	9	function spec		22	E	98/07/21

【図 3 1】



【図 3 2】

W

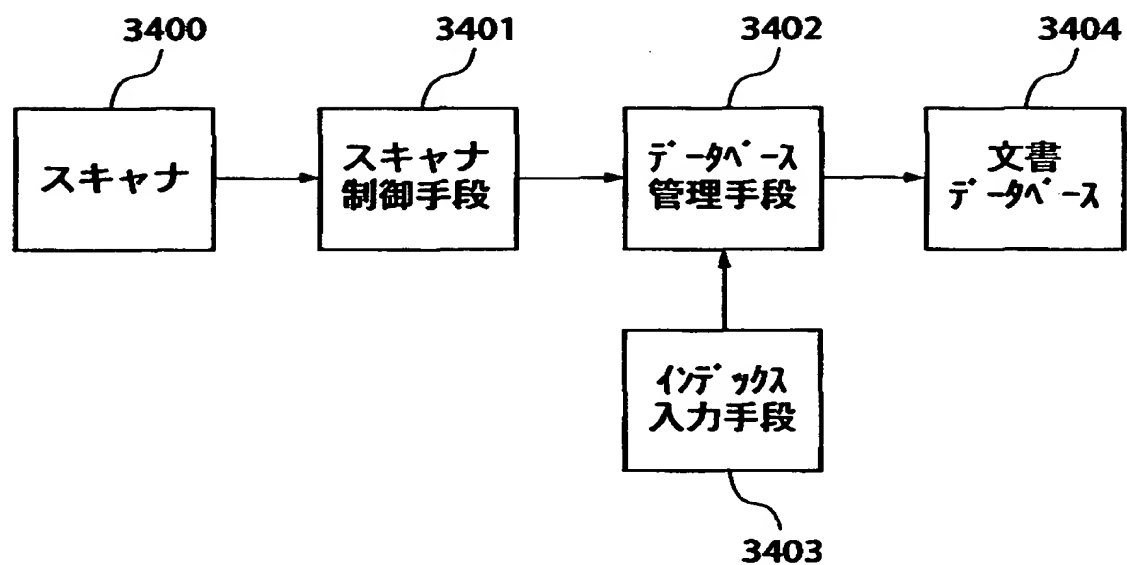
Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ①	3	function spec	XYZ-1	36	B	98/07/21
72 ○ ②	1	function spec	XYZ-2	23	A	98/06/26
72 ○ ③	7	function spec	XYZ-3	12	C	98/07/21
72 ○ ④	2	function spec	XYZ-4	32	A	98/07/21
72 ○ ⑤	5	function spec	XYZ-5	10	B	98/07/21
○	4	X-3 report		10	B	98/07/21
○	6	menu		5	C	98/07/21
○	8	X-11 report		8	D	98/07/21
○	9	function spec		22	E	98/07/21

【図 3 3】

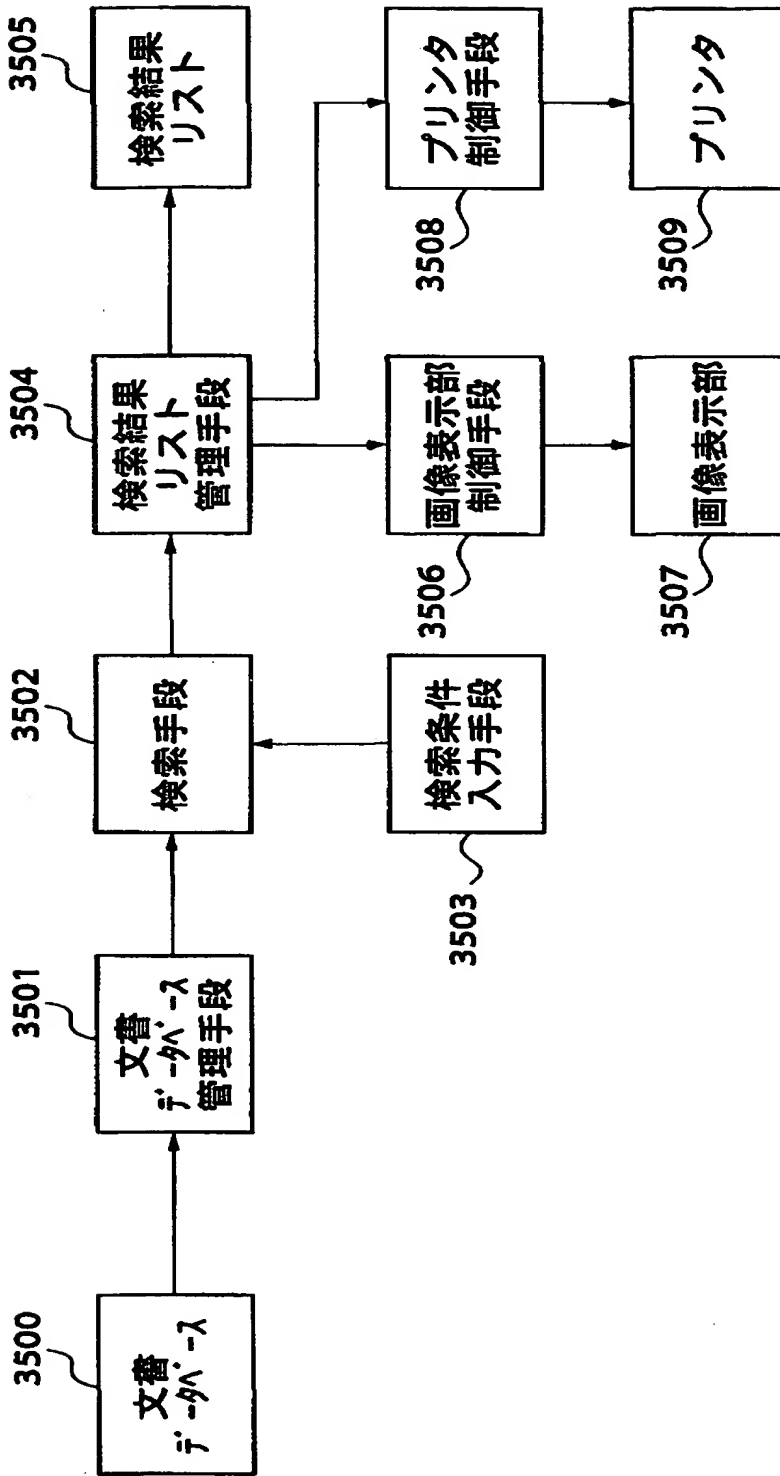
W

Properties	No	Title	Chapter	Pages	Rank	EntryDate
72 ○ ②	1	function spec	XYZ-2	23	A	98/06/26
72 ○ ④	2	function spec	XYZ-4	32	A	98/07/21
72 ○ ①	3	function spec	XYZ-1	36	B	98/07/21
72	4	X-3 report		10	B	98/07/21
72 ○ ⑤	5	function spec	XYZ-5	10	B	98/07/21
72 ○	6	menu		5	C	98/07/21
72 ○ ③	7	function spec	XYZ-3	12	C	98/07/21
○	8	X-11 report		8	D	98/07/21
○	9	function spec		22	E	98/07/21

【図 3 4】



【図 3 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 優先順位の付いた識別子が付加された複数の文書に対して、これらの文書を優先順位に従って一括して操作できるようにしたファイル管理方法及びシステムを提供する。

【解決手段】 CPU 1 0 1 により、検索結果の文書リストの表示順位とは独立した優先順位を持つことが可能な識別子をそれぞれのファイルに対して設定できるようにして、その識別子付きファイルに対して各種の一括した操作を行う方式を用いることによって、一括した操作に対するファイル単位の実行順位が操作実行前に明確に設定できるようにした。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号

氏 名 キヤノン株式会社